

3 中枢都市 ①首都圏からの移住・定住の促進

【新規】

おもてなしパスポート（Sパス）事業

企画局

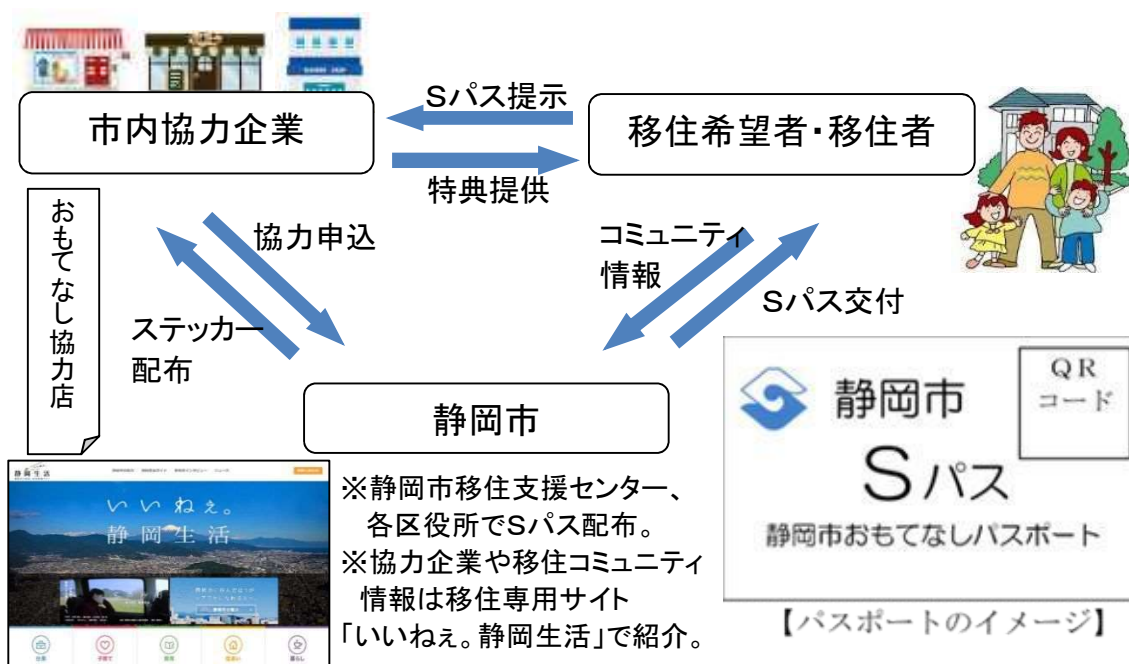
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	2,000				2,000
前年度予算額					

目的	官民連携による移住者受入体制を整備し、静岡市への移住及び転勤者等の定住を促進する。
----	---



事業概要	<p>静岡市への移住者（移住前後）に割引などのサービス（特典）を受けることができるパスポート（Sパス）を作成・提供することで、移住・定住促進につなげる。</p> <p>1 Sパスの概要 2,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対象：18歳以上かつ市外から静岡市へ移住を希望する世帯または市内に移住した世帯（1枚/世帯）。 ○有効期限：交付から2年間 ○サービス：移住者コミュニティ情報（移住者交流会、おすすめのスポット等）、引越料金割引、不動産仲介手数料割引、住宅ローン金利優遇等（想定） ○交付期間：H30～31の2年間（H31に見直し） ○交付場所：静岡市移住支援センター及び各区役所 ○交付時期：平成30年6月予定
------	---



3 中枢都市 ①首都圏等からの移住・定住の促進

【拡充】

移住体験ツアー運営事業

企画局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	5,318				5,318
前年度予算額	4,290				4,290

目的	<p>移住希望者に、実際に本市の生活環境を体験してもらい、移住を後押しするため、様々なツアーを実施する。</p> <p>ツアーに参加して移住につながったケースもあり、特に評判のいい「子育て環境」をテーマにしたツアーを中心に行っていく。</p>
----	---



事業概要	<p>1 移住体験ツアー 1,546千円</p> <p>○概要 実際に本市での子育て環境の良さを体験してもらうため、1泊2日の移住体験ツアーを実施する。</p> <p>○時期 平成30年秋～冬頃</p> <p>○参加者 15組30名程度</p> <p>2 移住モニターツアー及び情報発信 新規 3,046千円</p> <p>○概要 本市の「子育て環境」をテーマとした移住モニターツアーを実施。その様子を参加者自らがSNS等で発信することで、広く「子育て環境」の良さを首都圏等にPRする。</p> <p>○時期 平成30年夏～秋頃</p> <p>○参加者 10組20名程度</p> <p>3 まち歩きツアー（まち歩き案内in静岡） 726千円</p> <p>○概要 主に、初めて本市を訪れる方を対象に、静岡駅周辺のコンパクトな街並みをアピールするため、街中を歩く日帰りツアーを毎月1回、定期的に開催する。</p>
------	---



体験ツアーの様子



まち歩きツアーの様子

3 中枢都市 ①首都圏等からの移住・定住の促進

【拡充】

空き家情報バンク登録・活用事業

都市局

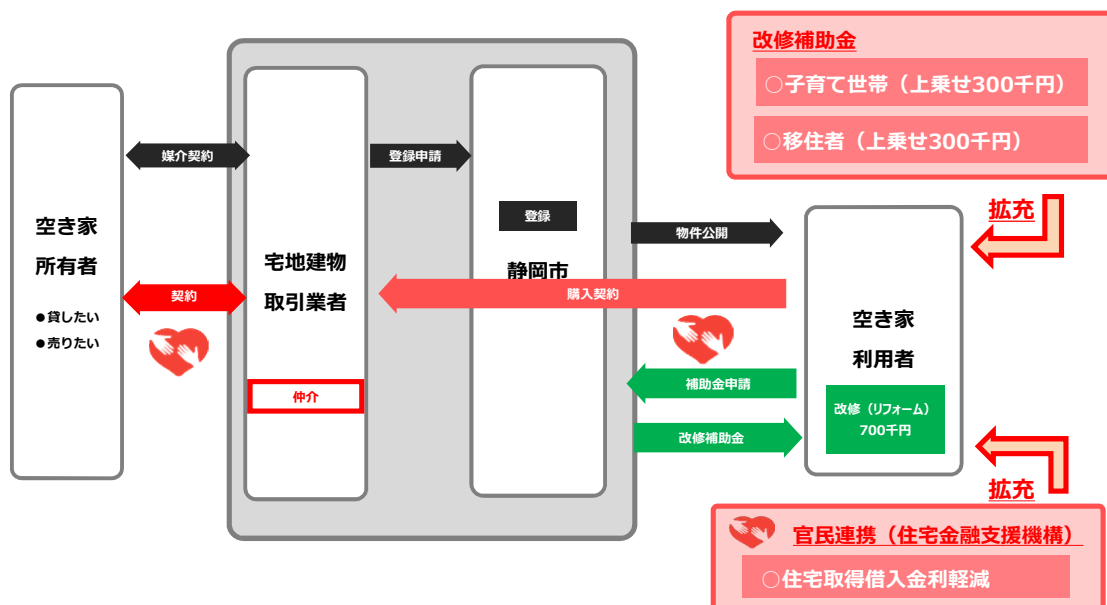
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (4.5/10)	市債	その他	
当初予算額	7,000	3,150			3,850
前年度予算額	7,000	3,150			3,850

目的	市街地区域内に所在する空き家の有効活用のため、子育て世帯や首都圏からの移住者に対する支援策を拡充・強化し、子育て環境の整備促進及び、移住・定住促進と地域の活性化を図る。
----	--

事業概要	<p>1 空き家情報バンク利活用に係るリフォーム補助金 7,000千円</p> <p>○空き家改修補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率 改修費の1/3 ・補助上限額 700千円 <p>○子育て世帯向け、移住者向け 空き家改修補助金 拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校6年生までの子どもを扶養している世帯又は首都圏からの移住者に対して、改修補助金の上乗せ300千円（空き家改修補助金と合わせて最大1,000千円）を実施。 <p>2 独立行政法人住宅金融支援機構との協定締結 拡充</p> <p>○空き家情報バンクの住宅取得にかかる借入金利を軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「フラット35」を利用した場合、借入金利を当初5年間0.25%引下げ
------	--

空き家情報バンクにより、空き家所有者と利用者のマッチングを手助け



3 中枢都市 ①首都圏等からの移住・定住の促進

【拡充】

交流人口の増加策（しずおか中部連携中枢都市圏事業）

企画局ほか

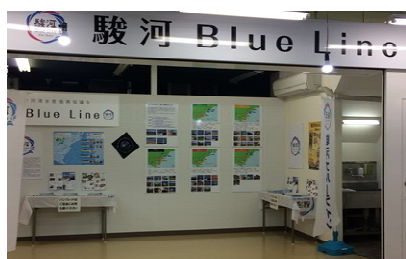
（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	508,159	50,000			458,159
前年度予算額	218,296				218,296

目的	<p>圏域内の「交流」及び圏域外からの「来訪」を活発化させ、圏域全体の活力向上に繋げるため、静岡県中部地域の5市2町（※）が「しずおか中部連携中枢都市圏」の取組を推進し、圏域の一体的な発展を目指す。</p> <p>※ 静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町</p>
----	--



事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域連携DMO推進事業 拡充 130,000千円 ○中部5市2町圏域におけるマーケティング分析による観光事業戦略の企画立案、商品開発、プロモーション等の実施 2 アンテナショップ開設事業 188,000千円 ○首都圏における中部5市2町連携アンテナショップの開設・運営 3 静岡中部地域サイクルツーリズム推進事業 新規 2,300千円 ○サイクルスポーツ活性化とサイクリスト集客による交流人口の増加を目的として、サイクルツーリズムコースの設定、誘客のための情報発信、環境整備を実施 4 中部5市2町イベントニュース発行事業 新規 29,400千円 ○中部5市2町で開催される行事をまとめたイベントニュースを年間4回発行 5 テレワーク推進事業 新規 6,000千円 ○在宅ワークを始める際に必要となる知識を習得できるe-ラーニングシステムを構築 6 大井川流域ニューツーリズム推進事業 29,000千円 ○高い集客力を持つSLやトーマス号などの運行を軸に周辺の地域資源を活用し圏域内の回遊促進を図るため、連携イベントや中部5市2町プロモーション等の実施 7 水産物を活用した産業活性化事業 2,720千円 ○連携による水産物を活用した産業活性化事業の実施
------	---



水産物を活用した産業活性化事業



大井川流域ニューツーリズム推進事業

3 中枢都市 ①首都圏等からの移住・定住の促進

【拡充】

交流人口の増加策（しずおか中部連携中枢都市圏事業）

企画局ほか

（千円）

事業概要	8 街道文化発信事業	13,900千円
	○東海道宿場イベントにおける連携イベントや中部5市2町プロモーション等の実施	
	9 海外展開・対日投資促進事業	14,389千円
	○海外に販路を有する貿易商社と中部5市2町圏域内企業の商談会開催	
	○中国投資と中部5市2町圏域内企業のマッチング、情報収集及び発信	
	10 しずおか女子きらっ☆プロジェクト推進事業 拡充	2,000千円
	○活躍したい女性を対象に、自身の経験を基に助言を行う「メンター」とのワークショップ（「メンターカフェ」）を中部5市2町で拡大実施	
	11 大学連携事業	27,100千円
	○地域が抱える課題を圏域の大学と連携して解決するための環境整備、解決事業の実施及び圏域の住民を対象にしたセミナー等を開催	
	12 JR駅前等賑わい創出事業	43,600千円
	○JR駅前等でのイルミネーション整備等、冬期の賑わい創出イベントを実施	
	13 中部5市2町広域連携PR事業	50千円
	○中部5市2町の連携イベントにおいて、連携中枢都市圏を周知するための統一的な販促物等を調達	
	14 都市間交通の利便性向上事業	14,000千円
	○路線バス（しずてつジャストライン特急静岡相良線）利用者の利便性向上のため、バスロケーションシステムの整備等を実施	
	15 移住促進事業	2,100千円
	○首都圏で開催される移住フェア（ふるさと回帰フェア、JOINフェア）に5市2町で合同出展	
16 しずおかエンジェルプロジェクト推進事業	600千円	
○結婚を希望する男女の出会いを創出する中部5市2町を巡る婚活バスツアーを実施		
17 サイエンスキッズ育成事業	3,000千円	
○中部5市2町連携ブース出展型科学イベントの開催等		



JR駅前等賑わい創出事業



移住促進事業



サイエンスキッズ育成事業

3 中枢都市 ①首都圏等からの移住・定住の促進

【拡充】

プレミアムフライデー推進事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	22,400	11,000			11,400
前年度予算額	18,000	5,000			13,000

目的	「静岡市から”働き方”を変えよう！」をスローガンに、働き方改革と消費喚起を一体的に実現していくため、市内イベントや広報周知に加え、企業の働き方改革実現に向けたロールモデル構築や市外誘客の促進など、更なる「定着」と「拡大」を図る。
----	--

事業概要	1 企業・経営者に向けた取組 7,800千円 ○ 企業の取組の拡大・質の向上 ・ 働き方改革実現に向けたロールモデル構築（再掲） 新規 ○ 働き方改革取組企業のPR ・ PF取組企業発信事業 新規 ・ 新聞媒体等を活用した普及啓発
	2 市民・来街者に向けた取組 10,645千円 ○ 市民の参加促進と市外からの誘客 ・ 市民参加型のシンボルイベント実施（毎月） ・ 市外からの来街促進事業 新規 ・ 市民意識調査の実施
	3 お店・施設等に向けた取組 3,955千円 ○ お店等の取組の定着・拡大と将来的な自走化の促進 ・ 個店・施設の情報集約発信 ・ PFイベント実施団体等支援事業 新規



P F をきっかけとした働き方改革
取組企業のPR（新聞）

プレミアムフライデー
シンボルイベントの実施状況

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

3 中枢都市	世界中から多くの人が集まる求心力の高いまちづくりの推進
3-②	MICEの推進等による交流人口の拡大

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成30年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
戦略的な情報の発信									
1	総務局	広報課	継続	都市認知度向上事業	ソフト	19,059		-	44
MICE誘致・開催の推進									
2	都市局	公園整備課	継続	日本平公園整備事業	ハード	364,000		104	102
3	観光交流文化局	観光・国際交流課 (MICE・国際課)	継続	全国大会等開催費助成	ソフト	26,975		-	57
4	観光交流文化局	まちは劇場推進課 (観光交流課) (商業労政課)	拡充	★賑わい創出イベント助成 (シズカンウィーク、大道芸ワールドカップ、 ★富士山コスプレ世界大会)	ソフト	123,880	⑤まちは劇場	105	61
オリンピック・パラリンピック等世界的イベントの活用									
5	観光交流文化局	スポーツ振興課	継続	清水庵原球場第2期整備事業	ハード	200,000		-	62
6	観光交流文化局	スポーツ交流課	継続	★オリンピック・パラリンピック合宿等誘致事業	ソフト	32,169		-	63
7	観光交流文化局	スポーツ交流課	継続	ラグビーワールドカップ合宿等誘致事業	ソフト	6,980		-	63
8	経済局	産業振興課	継続	東京オリンピック・パラリンピックメダルケース等 提案事業	ソフト	2,515		-	89
多角的な連携による観光客誘致等の推進									
9	観光交流文化局	観光・国際交流課 (観光交流課)	拡充	★地域連携DMO推進事業	ソフト	130,000		106	58
10	観光交流文化局	観光・国際交流課 (MICE・国際課)	拡充	訪日教育旅行誘致推進事業	ソフト	6,687		-	57
11	観光交流文化局	スポーツ交流課	継続	★清水エスパルス応援機運醸成事業	ソフト	12,000	⑤まちは劇場	107	63
12	観光交流文化局	スポーツ交流課	拡充	★野球を活かしたまちづくり推進事業	ソフト	14,102	⑤まちは劇場	108	63
13	観光交流文化局	観光・国際交流課 (MICE・国際課)	新規	YouTuberを活用した英語圏への情報発信事業	ソフト	2,200		-	57
14	観光交流文化局	観光・国際交流課 (MICE・国際課)	新規	市内看板多言語改修事業	ソフト	7,900		-	57
その他									
15	企画局	企画課	新規	SDGs推進事業	ソフト	42,000		109	47
16	財政局	財政課	継続	ふるさと寄附金受入推進事業	ソフト	165,441		-	48

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成30年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
17	経済局	商業労政課	継続	★中心市街地活性化事業費助成 (外国人向けマチナカお買い物マップ作成)	ソフト	4,000		-	90
18	総務局	広報課	継続	ロケーション撮影支援助成	ソフト	10,000		-	44
19	経済局	産業振興課	拡充	静岡市地域産業振興ブランド認証事業	ソフト	7,214		-	87
計						1,177,122			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成29年度当初予算額 859,964

3 中枢都市 ②MICEの推進等による交流人口の拡大

日本平公園整備事業 都市局

(千円)

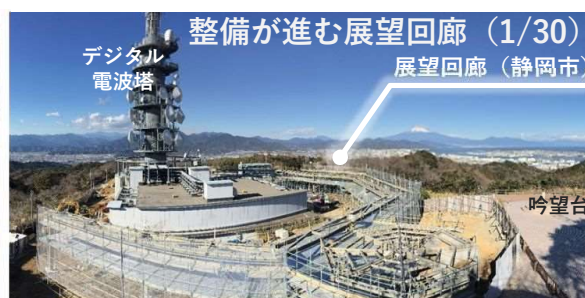
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2・1/3)	市債	その他	
当初予算額	364,000	161,933	184,700	10,000	7,367
前年度予算額	324,100	155,700	156,600		11,800

目的	名勝日本平の特性を活かし、市民のみならず観光や国際交流など幅広い活動の場を提供する本市のシンボル公園として、日本平公園の建設を行う。
----	--



事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 実施期間 平成22年度～41年度 2 事業箇所 有度丘陵山頂部 3 平成30年度実施内容(平成30年秋完成) <ul style="list-style-type: none"> ○山頂部展望回廊整備工事 159,720千円 <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県と連携し、日本平山頂展望施設及びその周辺の整備を実施 ○山頂部展望施設周辺整備 137,653千円 <ul style="list-style-type: none"> ・造園工事、電柱移設等 ○アクセス道路交差点改良及び電線地中化工事ほか(ラウンドアバウト交差点に改良) 66,627千円 <p>(期待される効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国内外から観光交流人口の増加による地域活性化 ○本市の魅力を広く全国に情報発信 ○潤いと魅力ある公園空間の創出
------	---

日本平公園整備事業 山頂展望施設整備イメージ



3 中枢都市 ②MICEの推進等による交流人口の拡大

【拡充】

賑わい創出イベント助成（シズカン・大道芸・コスプレ） 観光交流文化局

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	123,880				123,880
前年度予算額	104,880				104,880

目的	多くの市民が参加するイベントを開催し、本市の文化的な魅力を増進させ、賑わいを創出する。また、幅広く情報発信することで、国内外から多くの人々が訪れ、活発な交流が行われるまちの実現を目指す。
----	---



事業概要	1 シズオカ×カンヌウィーク 4,700千円 ○平成30年5月5日（土） <登呂公園> 5月12日（土）、13日（日） <七間町名店街> 5月19日（土）、20日（日） <清水マリンパーク>
	2 大道芸ワールドカップin静岡 拡充 114,180千円 ○平成30年11月1日（木）～11月4日（日） ○駿府城公園、静岡市民文化会館、市街地各所
	3 第6回富士山コスプレ世界大会 5,000千円 ○平成30年11月17日（土）、18日（日） ○清水駅前銀座商店街ほか



大道芸ワールドカップin静岡
2017 ワールドカップ・ジャパンカップチャンピオン
張海輪 中国雑技王



シズオカ×カンヌウィーク



富士山コスプレ世界大会

3 中枢都市 ②MICEの推進等による交流人口の拡大

【拡充】

地域連携DMO推進事業

観光交流文化局

(千円)

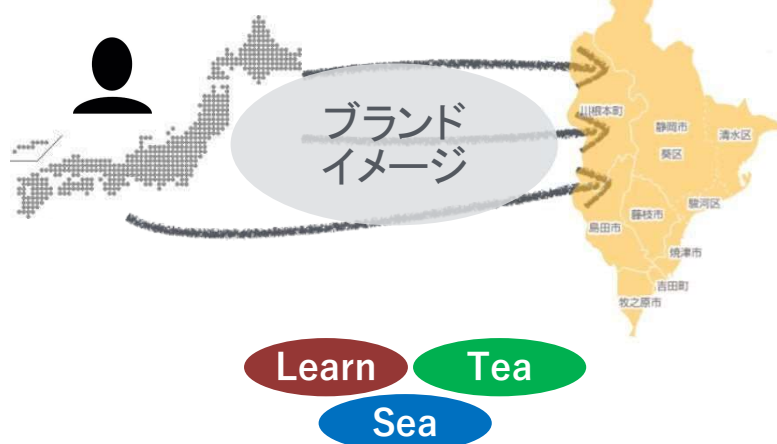
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	130,000	50,000			130,000
前年度予算額	55,000				55,000

目的	静岡県中部5市2町の広域連携のもと、当地域の「観光目的地」としてのブランド力を高め、来訪者数を増加させるとともに、戦略に沿った観光商品の開発を地域事業者とともに進め、観光消費や宿泊の拡大を図る。
----	---



事業概要	<p>静岡県中部・志太榛原地域（静岡市・島田市・焼津市・藤枝市・牧之原市・吉田町・川根本町）の枠組みで、（公財）するが企画観光局を中心に次の事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ブランドプロモーション 新規 <ul style="list-style-type: none"> 動画作成及びWebプロモーション オンライン宿泊予約サイトでのプロモーション Learn, Tea, Seaの戦略に基づく商品開発 新規 <ul style="list-style-type: none"> 教育体験プログラム開発 旅行商品造成 メディアファームトリップ実施 市場調査・効果測定 <ul style="list-style-type: none"> Webアンケート調査、分析 <p>※DMO（Destination Management/Marketing Organization） 地域の多様な関係者との連携と各種データに基づく 戦略的な観光地域づくりを行う舵取り役</p> <p>※中部5市2町広域連携事業</p>
------	---

ブランドプロモーションによる来訪者増加



Learn・Tea・Seaの戦略に基づく商品開発

3 中枢都市 ②MICEの推進等による交流人口の拡大

清水エスパルス応援機運醸成事業

観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	12,000				12,000
前年度予算額	14,500				14,500

目的	本市の「心の公共財」である清水エスパルスに対する市民の応援機運を醸成し、地域の賑わい創出やコミュニティ機能の向上、地域への愛着醸成等を図る。
----	--



事業概要	<p>1 清水エスパルスパブリックビューイング 9,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○概要 2018シーズンのリーグ戦のうち、アウェイゲーム5試合のパブリックビューイングを開催 ○場所 JR清水駅東口広場/JR東静岡駅北口広場など ○入場 無料 <p>2 清水エスパルス活用・応援機運の醸成 3,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○選手・マスコット等の地域・学校活動での活用 本市の各種行事・イベントへ選手等を派遣することで、ホームタウンチームとしての醸成を高める。 ○応援機運醸成品の作成・活用 応援横断幕の作成・設置、エスパルスグッズの活用 など
------	---



【パブリックビューイング】



【選手による学校訪問】

BACK TO THE BASIC

SHIMIZU

ES-PULSE

静岡市はエスパルスとともに

静岡市×フットサ・サッカーのまち市民協議会

【横断幕(2018イメージ)】

3 中枢都市 ②MICEの推進等による交流人口の拡大

【拡充】

野球を活かしたまちづくり推進事業

観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	14,102				14,102
前年度予算額	7,554				7,554

目的	国も成長分野として期待しているスポーツ産業の一つである「プロ野球」を核として、広く市民が野球に親しむ機会を創出することにより、MICEの推進および市民野球熱の醸成を図る。
----	---



事業概要	<p>1 プロ野球選手との市民交流事業 新規 4,307千円</p> <p>○概要 東北楽天ゴールデンイーグルスのオープン戦開催に併せ、市民交流イベントを実施</p> <p>○日時 平成31年2～3月頃</p> <p>○場所 草薙球場/小学校など(予定)</p> <p>2 大学野球オータムフレッシュリーグin静岡 新規 2,000千円</p> <p>○概要 地元大学と関東/中京圏のトップ校による大学野球交流戦や地元高校との交流戦などを実施</p> <p>○日時 平成30年11月23日～25日</p> <p>○場所 草薙球場/庵原球場/西ヶ谷総合運動場野球場</p> <p>3 野球による地域活性化関連事業 拡充 7,795千円</p> <p>野球関係者や他地域との連携の推進、施策推進に向けた検討・調査の実施など</p>
------	--

【大学生による市民交流イベント(野球教室)イメージ】



3 中枢都市 ②MICEの推進等による交流人口の拡大

【新規】

SDGs 推進事業

企画局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	42,000				42,000
前年度予算額					

目的	世界共通の目標である「持続可能な開発目標（SDGs ^{※1} ）」に他の自治体に先んじて取り組むとともに、その取組を発信することにより、静岡プレゼンスの発揮及び「『世界に輝く静岡』の実現」につなげていく。
----	---

事業概要	<p>SDGsを「『世界に輝く静岡』の実現」に向けたツールとして活用するため、SDGsの市政への組込み及び普及啓発、取組の発信を行う。</p> <p>1 市政へのSDGsの組込み 7,000千円 ○五大構想の高度化に向けた、SDGsの考え方を踏まえた指標の設定 等</p> <p>2 普及啓発 32,500千円 ○SDGs推進に不可欠な若い女性（F1層）の取組を引き出すための普及啓発として、情報発信力が強いTGC^{※2}を誘致（H31年冬頃） あわせて、本市のSDGsの取組のほか、物産や観光情報等を全国・世界へ発信 ○SDGs教育に取り組む中学校への講師派遣 等</p> <p>3 取組の発信 2,500千円 ○国連カンファレンス会議（5月末、ニューヨーク）での取組発信（調整中） 等</p>
------	---



※1 SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月の国連サミットで採択された2030アジェンダの中核をなす文書。
2030年を期限とする先進国を含む国際社会全体の17の開発目標。

2 TGC

地方で開催される東京ガールズコレクション

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

3 中枢都市	世界中から多くの人が集まる求心力の高いまちづくりの推進
3-③	戦略産業への支援・育成

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成30年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
戦略産業への集中的な支援・育成									
1	経済局	海洋文化都市 推進本部 (産業振興課)	拡充	海洋産業クラスター創造事業	ソフト	61,500	②海洋文化	112	84
2	環境局	環境創造課	拡充	★静岡型水素タウン促進事業	ソフト	8,188		172	64
3	経済局	海洋文化都市 推進本部 (清水港振興課)	継続	清水港コンテナ航路誘致事業負担金	ソフト	50,000		-	85
4	経済局	産業振興課	継続	戦略産業推進事業 (ロジスティクス産業立地促進事業)	ソフト	2,480		-	87
5	経済局	産業振興課	拡充	ホビーのまち静岡推進事業	ソフト	71,175		-	88
6	経済局	産業振興課	継続	戦略産業推進事業 (ホビー産業育成支援事業)	ソフト	4,173		-	87
7	経済局	産業振興課	継続	★東静岡ホビーパークプロジェクト推進事業	ソフト	2,000		-	88
8	経済局	産業政策課	継続	★CCC(文化・クリエイティブ産業振興センター) 管理運営事業 世界にはばたくクリエイター支援事業費助成	ソフト	80,744	⑤まちは劇場	77	86
9	経済局	商業労政課	継続	★中心市街地活性化事業費助成 (外国人向けマチナカお買い物マップ作成)	ソフト	4,000		-	90
10	経済局	産業政策課	継続	中小企業海外展開支援事業	ソフト	2,910		-	86
地域を支える企業への支援									
11	経済局	産業政策課	継続	中小企業融資制度等利子 及び信用保証料補給事業	ソフト	250,000		-	86
12	経済局	産業振興課	継続	中小企業事業高度化事業費助成	ソフト	40,000		-	89
13	経済局	商業労政課	拡充	★就活よろず支援体制強化事業 (地元就職、UIターン就職の促進)	ソフト	32,405		91	90
14	経済局	商業労政課	拡充	働き方改革の実現に向けた環境整備事業	ソフト	9,000		113	90
15	経済局	商業労政課	新規	商店街の外国人観光客対応促進事業	ソフト	3,600	②海洋文化	72	90
16	経済局	産業振興課	継続	人材マッチング推進事業	ソフト	689		-	88
17	経済局	産業振興課	継続	大規模展示会出展等事業費助成	ソフト	9,150		-	88
18	経済局	産業振興課	継続	新商品等開発事業費助成	ソフト	6,000		-	88
19	経済局	産業政策課	継続	CSR活動表彰事業	ソフト	1,749		-	85
20	経済局	産業振興課	継続	中小事業者技術表彰事業	ソフト	447		-	87

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成30年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
企業立地の推進									
21	経済局	産業振興課	拡充	企業立地促進事業費助成	ソフト	492,000		114	88
22	経済局	産業振興課	継続	企業立地用地開発推進事業	ソフト	17,000		115	87
23	経済局	産業振興課	継続	コンタクトセンター立地促進事業	ソフト	2,800		-	87
24	経済局	産業振興課	継続	本社機能移転・拡充推進事業	ソフト	2,714		-	87
大谷・小鹿地区のまちづくり推進									
25	都市局	新インターチェンジ 周辺整備課	継続	大谷・小鹿地区まちづくり計画推進事業	ハード	706,808		116	100
産業に必要なアクセス道路の整備									
26	建設局	道路計画課	継続	★国道1号静岡バイパス整備促進事業	ハード	1,301,740		160	108
27	建設局	道路計画課	継続	★道路ネットワークの整備 (主)井川湖御幸線、(主)山脇大谷線、 (主)清水富士宮線)	ハード	1,707,400		160	108
28	建設局	道路計画課	継続	★地域高規格道路(南北道路)調査事業	ハード	8,100	③教育文化	160	108
その他									
29	経済局	産業政策課	継続	★アンテナショップ開設事業	ソフト	188,000		98 117	86
計						5,066,772			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成29年度当初予算額 5,586,334

3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

【拡充】

海洋産業クラスター創造事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	61,500	30,000			31,500
前年度予算額	77,904	38,418			39,486

目的	本市独自の駿河湾という「海洋資源」、大学等研究機関の「知見」、清水港とともに発展してきた造船をはじめとする機械金属製造業や水産加工業等の関連産業の「技術」を組み合わせることにより、海洋関連産業における新事業創出・事業高度化を推進するとともに、研究機能の強化・集積を図る。
----	---

事業概要	<p>推進主体である「静岡市海洋産業クラスター協議会」が実施する各種事業に対し、負担金を支出する。</p> <p>○主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信事業（ウェブサイトの運営、シンポジウムの開催等） ・産学マッチング支援事業（アドバイザー2名の設置） ・人材育成事業（海洋産業専門人材育成セミナーの開催等） ・事業化研究事業 拡充 （事業化研究プロジェクトの実施（9テーマ程度）、国際展示会への出展等）
------	--



3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

【拡充】

働き方改革の実現に向けた環境整備事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	9,000	3,750			5,250
前年度予算額	8,500	2,400			6,100

目的	多様な属性や価値観を持った人材を活かし、その能力を最大限に発揮できる環境の実現による「生産性の向上」を目指すとともに、これに伴う雇用の促進を図る。
----	---



事業概要	1 働く女性の活躍推進セミナー等の開催事業 3,000千円 ○実施内容(予定) ・経営者対象: 全1回 定員90名程度 ・管理職対象: 全2回 定員20名程度 ・働く女性対象: 全2回 定員20名程度
	2 表彰受賞企業等の取組の見える化事業 500千円 ○30年度受賞企業等の取組取材・既存サイト特集ページの更新
	3 働き方改革実現に向けたロールモデル構築事業 新規 4,000千円 ○専門家派遣による業種別、取組内容別など、各ケースに応じた働き方改革ロールモデルの構築
	4 働き方改革の実現に向けたキックオフ事業 新規 1,500千円 ○働き方改革推進シンポジウム(予定) ・会場: しずぎんユーフォニア ・日程: 11月 ・対象: 市内企業の経営者層



働く女性の活躍推進セミナーイベントの様子



企業の取組み見える化サイトTOPページイメージ

3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

【拡充】

企業立地促進事業費助成

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	492,000				492,000
前年度予算額	492,000				492,000

目的	市内への企業の進出及び市内における企業の定着を促進し、地域産業の高度化、活性化及び雇用機会の拡大を図る。
----	--

事業概要	<p>工場等の設置や事務所等の賃借を行った企業等に対する助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場等設置事業 拡充 (補助対象：用地取得費、設備投資費、新規雇用) ※複数要件のうち雇用増要件を廃止し、雇用数維持で申請可能に ・事務所等賃借事業 (補助対象：建物賃借料) ・用地供給(民間団地開発)促進事業 (補助対象：共用施設整備に係る費用) ・コンタクトセンター開設事業 (補助対象：建物賃借料、事務所開設経費、新規雇用等) ・本社機能移転・拡充事業 (補助対象：用地取得費、設備投資費、建物賃借料、新規雇用等)
------	---



3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

企業立地用地開発推進事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	17,000				17,000
前年度予算額	23,200				23,200

目的	企業立地用地不足の解消のための、市内の開発適地の事業化に向けた関係機関との協議と、地域未来投資促進法地域基本計画を活用した市街化調整区域への企業立地を推進する。
----	--



事業概要	1 大規模企業立地候補地（竜南地区）の開発実現化 ○用地交渉に向けた地権者への説明や意向確認 ○市街化調整区域の開発許可に必要な地区計画（都市計画決定資料）作成業務 11,000千円
	2 地域未来投資促進法を活用した「土地利用調整計画」作成業務 6,000千円 「地域未来投資促進法」に基づく地域基本計画において、重点促進区域に指定したエリアに企業立地が計画された場合は、「土地利用調整計画」を作成し、規制の特例措置を活用する。

用地確保に向けたロードマップ

年度	H28	H29	H30
大規模候補地	新静岡IC周辺地区【竜南】 清水いはらIC周辺地区【庵原】 新清水IC周辺地区【穴原】 ①事業成立性の高さ ②企業ニーズの高さ ③周辺の開発の状況 ↓ 優先度を整理 「竜南」を選定 その他候補地	開発を想定した・事業費の算出・排水処理の検討・地区計画(素案)作成 地権者アンケート実施	地区計画策定 地権者への説明や意向確認 進出を希望する企業ニーズの精査 開発検討に向けた準備
	大谷小鹿	産業集積方針策定 土地管理組織検討提案	民間開発可能な用地として開発希望者に情報提供 産業集積方針に沿った企業立地の働きかけ 土地管理組織設立に向けた支援 企業立地推進
小規模候補地	①土地利用規制の状況 ②インフラ整備の状況 ③交通アクセスの良さ ④企業ニーズの高さ ↓ 事業性を評価 18箇所を選定	地権者アンケート実施 地権者の土地利用意向が固まっている候補地を地域未来投資促進法に基づく「地域基本計画」において、「重点促進区域」に指定 その他候補地	開発希望者に情報提供 個別開発が可能な用地として開発希望者に情報提供

3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

大谷・小鹿地区まちづくり計画推進事業

都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5.5/10)	市債	その他	
当初予算額	706,808	175,780	329,900	190,000	11,128
前年度予算額	224,700	105,160	82,400		37,140

目的	大谷・小鹿地区まちづくりランドデザイン「活発に交流し、価値を創り合う創造型産業のまち」の実現に向け、工業・物流エリアの恩田原・片山地区において、土地区画整理事業による基盤整備を推進し、産業系の土地利用への転換を図る。
----	--

事業概要	1 恩田原・片山土地区画整理事業助成 699,500千円 ○助成対象 ・道路築造工事、調査設計、移転補償ほか
	2 宮川地区のまちづくり事業誘導方策策定 7,308千円 ○事業内容 ・宮川地区のまちづくり事業誘導方策の検討



※本土地利用計画図は、今後の関係機関協議等により、変更になる可能性があります。

3 中枢都市 ③戦略産業への支援・育成

アンテナショップ開設事業 経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	188,000				188,000
前年度予算額	5,000				5,000

目的	しずおか中部連携中枢都市圏事業の一つであるアンテナショップを開設し、お茶、水産加工品等のPRなど、首都圏での情報発信を行い、地場製品の販路を拡大する。
----	---



事業概要	<p>開設にあたっての店舗の賃借、改装等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○想定物件の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・面積 50～60坪程度（予定） ・店舗機能 物販、軽飲食、観光情報イベント（対面販売）等 ○想定オープン時期 <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度内を想定
------	---

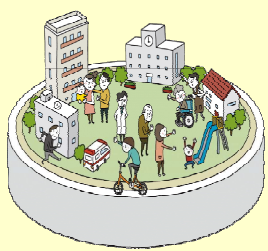


アンテナショップの様子(イメージ)「写真:長野県アンテナショップ」

健康都市

<プロジェクトの目標>

子どもから高齢者まで、
一生涯を通じ、住み慣れた地域
で健康的に長生きできる
まちづくりの推進



<成果目標>

「子育てしやすいまち」だと思える市民の割合(市民意識調査)

そう思う 53%(H26) → 67%(H34)

「障がい者や高齢者にやさしいまち」だと思っている市民の割合(市民意識調査)

そう思う 42%(H27) → 70%(H34)

①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築
 (「自宅ですっと」プロジェクト)

保健福祉長寿局、市民局、観光交流文化局
 子ども未来局、経済局、都市局

実現すべき将来像

- ライフステージに合わせた市民が主体の健康づくり事業の推進と、それを支援する保健と医療体制の充実
- 超高齢社会を見据えた人材の養成や生きがいの創出

課題と対応策

人生の最期まで自分らしく「自宅ですっと」暮らせるよう、支援体制を整備するため、「静岡型地域包括ケアシステムの構築」を推進するとともに、健康寿命75歳を目指し、健康づくり、介護予防といった「健康寿命の延伸」に向けた取組を推進する。

平成30年度の取組

○「自宅ですっと」プロジェクトによる、静岡型地域包括ケアシステムの構築と、「健康長寿世界一の都市」の実現を目指し、「健康長寿のまちづくり計画」に基づき、具体的な施策を推進する。

- ・「自宅ですっと」在宅医療・介護連携推進事業は、新規8小学校区、拡大・強化地区16圏域で実施し、チームによる支援体制を構築。
- ・末期がんの方が、介護保険認定を待つ間、自宅で安心して生活できるよう介護費用の一部を助成。
- ・認知症高齢者見守りシステムの充実や徘徊模擬訓練の実施。
- ・日常生活圏域について、25圏域を30圏域に見直し・再編し、新たに5つの地域包括支援センターを増設することで、効果的なセンターの運営を実施。
- ・生涯活躍のまち静岡(CCRC)の推進では、葵区中心市街地と駿河区役所周辺における地域交流の拠点整備にあわせ、健康づくりや地域づくりを促進。
- ・希望する高齢者が生涯現役で働き活躍することができるよう、国や県、経済界、福祉団体などの関係者が一体となって、新たな就労の場の検討に取り組む。
- ・元気いきいき！シニアサポーター事業は、ポイント付与の対象を、障がい者施設や病院のボランティアにまで拡充。

地域包括ケアシステムの構築

健康寿命の延伸



がん末期在宅介護支援事業助成
 (保健福祉長寿局)
 【4,000千円】



地域包括支援センター
 運営事業
 (保健福祉長寿局)
 【913,250千円】



生涯現役!
 高齢者就労促進事業
 (保健福祉長寿局)
 【4,570千円】



徘徊認知症高齢者の
 捜索模擬訓練モデル事業
 (保健福祉長寿局)
 【1,000千円】



生涯活躍のまち静岡
 (CCRC)推進事業
 (保健福祉長寿局)
 【19,800千円】



元気いきいき!
 シニアサポーター事業
 (保健福祉長寿局)
 【73,477千円】

② 静岡型子ども・子育て支援の推進

子ども未来局、教育局、保健福祉長寿局
市民局、経済局

実現すべき将来像

- 子ども本位の視点に立ち、すべての子どもが健やかに成長することができるように社会全体で支えていくまちの実現
- 人とのつながりを大切にし、すすんで社会に参画する子ども・若者を育むまちの実現

課題と対応策

保育施設や放課後児童クラブ等において、計画的に待機児童を解消するため、さらなる施設整備や保育士等の人材確保が課題となっている。
そこで、平成30年度は、乳幼児期の教育・保育及び放課後児童クラブの施設整備をはじめ、発達の早期支援や子どもの貧困対策等、結婚・妊娠・出産から乳幼児期・学童期・青年期まで「切れ目のない支援」の更なる充実に取り組む。

平成30年度の取組

「子ども・子育て支援プラン」の着実な推進に加え、結婚・妊娠・出産から乳幼児期・学童期・青年期までの「切れ目のない支援」のさらなる充実を目指し、発達の早期支援、子どもの貧困対策、教育力の向上に向けた取組を拡充する。

- 発達が気になる子の早期発見・支援を実施する。
- 放課後児童クラブは施設整備により、13クラブ、620名分の受け皿を確保する。
- 「たくましくしなやかな子どもたち」の実現に向け、小中一貫教育の推進、市独自のガイドラインに則った部活動指導を実施。
- 「子どもの生活実態調査」の結果等を踏まえ、子どもの貧困対策を拡充。

妊娠・出産支援



産婦健康診査事業、産後ケア、ママケアデイ、不妊治療費助成（子ども未来局）【250,210千円】

乳幼児期の支援



教育・保育施設の整備、保育士確保対策、発達の早期支援（子ども未来局・保健福祉長寿局）【509,819千円】

放課後子ども対策



放課後児童クラブの整備運営
放課後子ども教室推進事業（子ども未来局、教育局）【1,313,210千円】

結婚・若者支援



エンジェルプロジェクト、結婚新生活応援事業、ひきこもり対策（子ども未来局）【37,661千円】

教育力の向上



小中一貫教育の推進（教育局）【22,698千円】
部活動指導員配置事業（教育局）【47,884千円】

子どもの貧困対策



学習意欲向上、学習・生活の支援、スクールソーシャルワーカー活用（保健福祉長寿局・子ども未来局・教育局）【66,857千円】

③ 健康都市の実現に向けた基盤整備

都市局、観光交流文化局、建設局
市民局、子ども未来局、教育局

実現すべき将来像

- 自転車の利用環境の改善やルール・マナーの向上と中心市街地での回遊性の向上を図ることにより、「自転車を利用しやすいまち」と「歩いて楽しいまち」の実現を推進
- 楽しく自転車に乗ること、歩くことが「活動量の増加」や「気分のリフレッシュ」につながり、健康に過ごすことができるまち

課題と対応策

自転車を利用しやすいまち、歩いて楽しいまちの両政策とも着実に進んでいるが、民間・地域との連携という課題がある。
そこで、平成30年度は自転車サポーター認定に向けた取組や地域主体による空間活用の運営体制の検討、静岡版 桜の管理制度の検討に取り組む。

平成30年度の取組

- 自転車を利用しやすいまちの実現に向け、平成30年度は、引き続き自転車の利用を推進するため、自転車サポーターを拡大する取組や、サイクルフェスの開催、まちなか駐輪環境改善などを実施するとともに、キックバイクを活用した自転車安全教育を導入する。
また、自転車走行空間の整備にあたっては、詳細設計及び工事を着実に実施する。
- 歩いて楽しいまちづくりの実現に向け、平成30年度は、駿府城公園周辺の追手町音羽町線において水辺デッキ整備工事のほか、地域主体による空間活用の活動を支援する。
また、桜の名所としての魅力向上のために、静岡ゆかりの桜（シンボルツリー）をはじめ、駿府城公園及び三の丸区域へ計53本の桜を植樹するとともに、静岡版桜の管理制度の検討に取り組む。

自転車を利用しやすいまち



交通安全施設整備事業（自転車走行空間ネットワーク整備事業）（建設局）【289,700千円】



幼少期からの交通安全教育推進事業（都市局・市民局・観光交流文化局・子ども未来局・教育局）【18,790千円】

歩いて楽しいまち



追手町音羽町線等にぎわい空間創出事業（都市局）【114,051千円】



駿府城公園「桜の名所」づくり事業（都市局）【17,600千円】

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

4 健康都市	市民が住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりの推進
4-①	健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築(「自宅ですっと」プロジェクト)

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成30年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
地域包括ケアシステムの構築(在宅医療・介護の推進)									
1	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	「自宅ですっと」在宅医療・介護連携推進事業	ソフト	3,185	④健康長寿のまち	122	142
2	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	医療・介護・福祉スーパーバイザー人材配置事業	ソフト	13,000		-	142
3	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	在宅医療・介護連携推進事業 (協議会の運営、研修会の実施等)	ソフト	5,694		-	142
地域包括ケアシステムの構築(情報発信・地域支援体制の整備)									
4	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	地域包括支援センター運営事業	ソフト	913,250	④健康長寿のまち	124	142
5	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	生活支援体制整備事業 (生活支援コーディネーターの配置)	ソフト	118,363	④健康長寿のまち	125	142
6	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	静岡型地域包括ケアシステム情報発信事業	ソフト	1,848		-	142
地域包括ケアシステムの構築(社会参加・介護予防の推進)									
7	保健福祉長寿局	福祉総務課	拡充	生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業	ソフト	19,800	④健康長寿のまち	126	67
8	保健福祉長寿局	介護保険課	拡充	元気いきいき！シニアサポーター事業	ソフト	73,477	④健康長寿のまち	127	142
9	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	S型デイサービス事業	ソフト	71,801		-	142
10	保健福祉長寿局	地域リハビリテーション 推進センター	拡充	「健康寿命世界一」市民チャレンジ事業 (しぞ〜かでん体操)	ソフト	4,220	④健康長寿のまち	128	142
11	保健福祉長寿局	高齢者福祉課	継続	しずおかハッピーシニアライフ事業	ソフト	842		-	70
12	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	フレイル予防事業	ソフト	1,500		-	142
13	保健福祉長寿局	高齢者福祉課	新規	高齢者就労促進事業	ソフト	4,570	④健康長寿のまち	129	70
地域包括ケアシステムの構築(認知症施策の推進)									
14	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	認知症初期集中支援推進事業	ソフト	12,777		-	142
15	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	認知症地域支援・ケア向上事業	ソフト	2,441		-	142
16	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	認知症疾患医療センター運営事業	ソフト	10,488		-	67
17	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	認知症高齢者見守りシステム事業	ソフト	1,165		-	142
18	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	新規	徘徊認知症高齢者の搜索模擬訓練モデル事業	ソフト	1,000	④健康長寿のまち	130	142

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成30年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
地域包括ケアシステムの構築(住まい)									
19	都市局	住宅政策課	継続	高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業	ソフト	113,808		-	105
健康寿命の延伸									
20	保健福祉長寿局	保険年金管理課	拡充	健康度見える化事業	ソフト	15,033		-	134
21	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	継続	しずおか「カラダにeat75」事業	ソフト	1,905		-	67
22	保健福祉長寿局	保険年金管理課	継続	糖尿病性腎症重症化予防事業	ソフト	2,902		-	134
23	保健福祉長寿局	保健予防課	継続	予防接種モバイルサービス事業	ソフト	2,333		-	76
24	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	継続	元気静岡マイレージ事業	ソフト	795		-	67
その他									
25	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	継続	がん検診事業	ソフト	749,778		-	68
26	保健福祉長寿局	精神保健福祉課	継続	★精神障害者地域移行支援事業	ソフト	14,440		-	77
27	保健福祉長寿局	清水病院 病院総務課	継続	★清水病院医学生修学資金貸与事業	ソフト	45,000		-	148
28	保健福祉長寿局	保健予防課	新規	難病医療費支給等支援事業	ソフト	780,000		131	75
29	保健福祉長寿局	介護保険課	新規	がん末期在宅介護支援事業費助成	ソフト	4,000		123	71
計						2,989,415			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成29年度当初予算額 2,099,781

4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【拡充】

「自宅ですっと」在宅医療・介護連携推進事業

保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般会計繰入金
		国・県支出金 (国38.5%、県19.25%)	市債	その他	
当初予算額	3,185	1,839		733	613
前年度予算額	3,006	1,758		662	586

目的	<p>住み慣れた地域で自分らしく最期まで暮らし続けることができるよう、身近な地域ごとに医療・介護の専門職が連携する体制をつくり、各地区での切れ目のない在宅医療・介護の支援体制を確立する。</p>
----	---

事業概要	<p>小学校区程度の地区で医療・介護の専門職や地域の方々が参画する「自宅ですっとミーティング」を実施。在宅医療・介護連携推進に係る共通認識の醸成と圏域ごとのチームづくりを推進。</p> <p>1 「自宅ですっと」在宅医療・介護の連携推進事業 3,185千円 「自宅ですっとミーティング」を他の圏域に拡大するとともに、新たなテーマを選定し、ミーティングにおいて検討。 ※平成29年度は認知症の人とその家族を支える体制づくりをテーマに、支援する各職種や関係者の役割を表したフローチャートを作成。在宅医療・介護連携について住民に周知。</p>
------	--

▶自宅ですっとミーティング



「自宅ですっと」ミーティングのスケジュール

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度～	
「自宅ですっと」ミーティングによる医療・介護連携支援体制の構築	6小学校区+2圏域	8圏域 (31小学校区)	16圏域* (58小学校区*)	全圏域 (87小学校区)	市内の全地域における医療・介護連携支援体制の確立
		8小学校区			
			8小学校区*		

4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【新規】

がん末期在宅介護支援事業費助成

保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	4,000				4,000
前年度予算額					

目的	末期がんの方が、経済的に安心して在宅介護に必要なサービスを受けられるよう費用の一部を助成する。
----	---



事業概要	<p>要介護認定申請の結果、非該当になった末期がんの方や御家族を対象に、在宅介護に必要なサービスの利用について費用の一部を助成する。</p> <p>○助成の対象となる方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・末期がんの方が利用した在宅サービスの費用を支払った方 ・ケアマネジメントプランを作成した居宅介護支援事業者 <p>○対象となる在宅サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特殊寝台貸与 ・特殊寝台付属品貸与 ・訪問介護 ・訪問入浴介護 ・ケアプラン作成 <p>○上記サービスを利用できる方（入院中は対象外）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40歳以上の介護保険被保険者の方 ・市民税が課税されていない方 ・介護保険料の滞納がない方
------	--

末期がんの方が、住み慣れた家で過ごせるように市が支援します。



4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【拡充】

地域包括支援センター運営事業

保健福祉長寿局

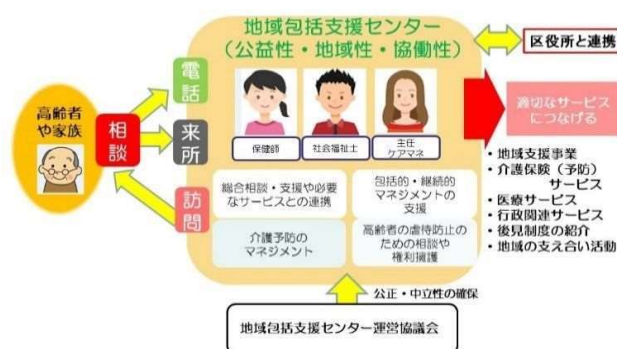
(千円)

	事業費	特定財源			一般会計繰入金
		国・県支出金 (国38.5%、県19.25%)	市債	その他	
当初予算額	913,250	527,401		210,048	175,801
前年度予算額	827,164	483,890		181,976	161,298

目的	取組の要となる地域包括支援センターの体制を強化。新しい介護予防・日常生活支援総合事業の実施、医療・介護連携や認知症施策をはじめとする地域包括ケアシステム構築に向けたこれらの取組を推進する。
----	--

事業概要	<p>1 地域包括支援センターの運営 拡充 910,612千円 日常生活圏域を25圏域から30圏域に分割することに伴い、地域包括支援センターを増設する。 ・平成29年度：24センター→平成30年度：29センター</p> <p>※地域包括支援センター 各センターに、保健師、社会福祉士及び主任ケアマネジャーを配置。専門職のチームアプローチで高齢者にかかる様々な相談等に対応。 (主な業務) ・高齢者や家族からの介護や福祉等に関するワンストップ相談窓口（総合相談） ・高齢者への虐待や消費者被害への対応（権利擁護） ・地域での介護予防の取組への支援や介護予防に関する相談・アセスメント（介護予防） ・地域のケアマネジャーへの助言・支援</p> <p>2 地域ケア会議推進事業 新規 2,638千円 高齢化が進展する中で、地域包括ケアシステムを推進するとともに、介護予防を推進するため地域ケア会議を活用して、多職種によるケアプラン検討を行い高齢者の自立支援・重度化防止に取り組む。</p>
------	---

■地域包括支援センターの運営体制



(地域ケア会議の様子)

4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【拡充】

生活支援体制整備事業

(生活支援コーディネーターの配置)

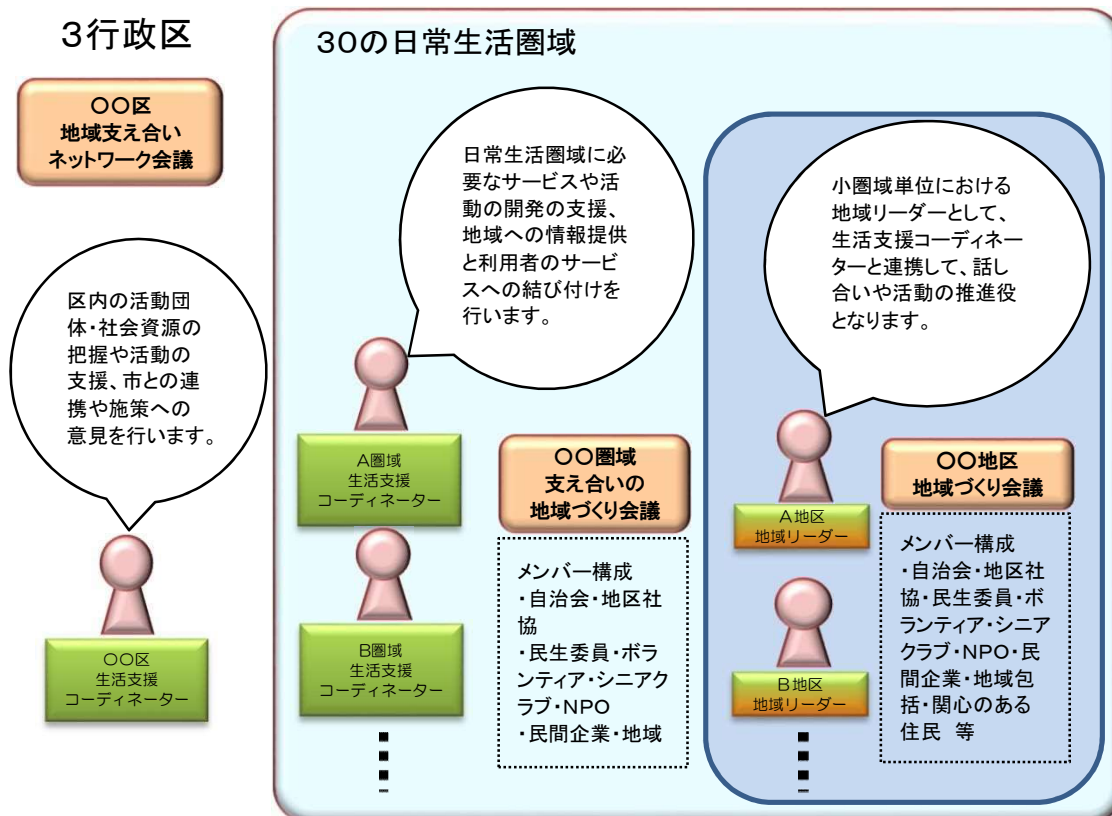
保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般会計 繰入金
		国・県支出金 (国38.5%、県19.25%)	市債	その他	
当初予算額	118,363	68,355		27,223	22,785
前年度予算額	91,159	53,328		20,055	17,776

目的	高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、社会福祉法人、地域住民等の多様な主体による重層的な生活支援サービスの提供体制の構築を支援する。
----	---

事業概要	1 生活支援体制整備のための協議体の設置 3,229千円 多様な主体間の情報共有及び連携・協働による資源開発等を推進することを目的に、協議体を設置する。
	2 生活支援コーディネーターの配置 115,134千円 地域に不足するサービスの開発やサービスの担い手の養成など多様な役割を担う「生活支援コーディネーター」を、行政区及び日常生活圏域に配置する。 平成29年度：16圏域→平成30年度：30圏域 拡充



※市全体を担当するコーディネーター、協議体も設置。

4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【拡充】

生涯活躍のまち静岡（CCRC）推進事業

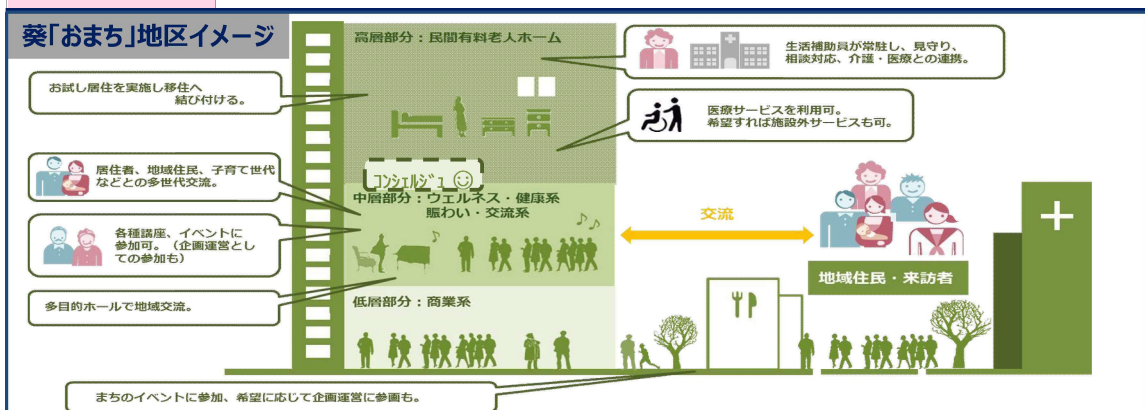
保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	19,800	9,900			9,900
前年度予算額	8,000	4,000			4,000

目的	シニアをはじめとして地域の誰もが、健康でアクティブな生活や社会活動への参加などを通じて生涯活躍できる環境づくりに取り組み、これにより住み慣れた地域でできる限り健康で自分らしく暮らすことができる「健康長寿のまち」を推進する。
----	---

事業概要	<p>市内2地区において「健康長寿のまち」のモデル地域づくりを推進する。</p> <p>1 葵「おまち」地区（葵区中心市街地） 5,199千円 コンセプト：「健康長寿なライフスタイル～大人のおまち暮らし～ブランド化」 現在整備中の市街地再開発ビル（H30.10月オープン）と連携して、次の事業を推進。 ○「おまち暮らし」の魅力を体験するお試し居住事業 ○おまちへの移住者および地域住民を対象とした地域活動支援を推進する地域コンシェルジュ事業</p> <p>2 駿河「共生」地区（駿河区役所周辺地区） 14,601千円 コンセプト：「交流・共生で『健康長寿のまちづくり』駿河地域モデルの発信」 ○静岡市地域福祉共生センターを開設（H30.6月）し、地域福祉推進事業、地域・多世代交流事業、移住支援事業を推進</p>
------	--



4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【拡充】

元気いきいき！シニアサポーター事業

保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般会計繰入金
		国・県支出金 (1/4、1/8)	市債	その他	
当初予算額	73,477	27,223		37,069	9,185
前年度予算額	63,389	23,461		32,004	7,924

目的	シニア世代（65歳以上）の生きがいがづくり・仲間づくりを通じた「介護予防」や「孤立防止」を推進し、住み慣れた地域でいつまでも元気で暮らせる「健康長寿のまち」の実現を目指す。
----	--

事業概要	<p>シニア世代が、ボランティア活動をするとポイントがたまり「静岡市の地場産品」と交換できる事業。</p> <p>〈拡充内容〉 平成30年度は、「高齢者支援ボランティア」に加え、「<u>障がい者支援ボランティア</u>」及び「<u>病院ボランティア</u>」を含めて、シニア世代にとってより身近な活動まで対象を拡充する。</p>
------	--

貯まったポイントは、83種類の地場産品から自由に交換することができます。



平成29年度

- 高齢者支援ボランティア
 - ・S型デイサービス
 - ・在宅高齢者支援
 - ・介護施設

平成30年度

病院
ボランティア



障がい者支援
ボランティア



高齢者支援
ボランティア



4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【拡充】

「健康寿命世界一」市民チャレンジ事業
(しぞ〜かでん伝体操)

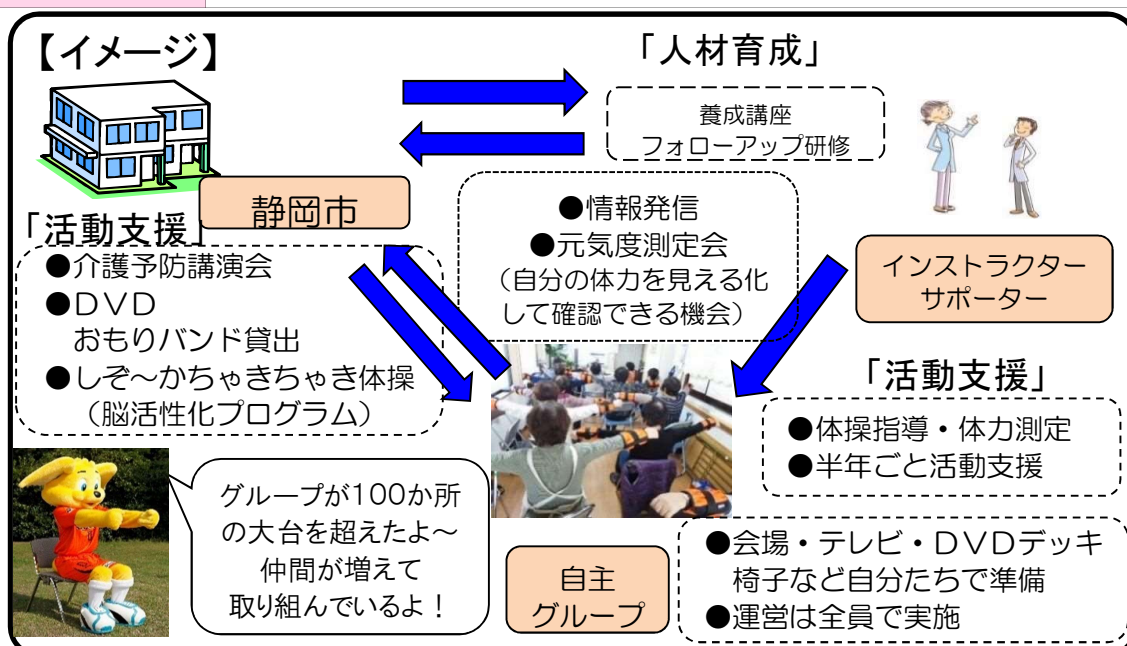
保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般会計繰入金
		国・県支出金 (1/4、1/8)	市債	その他	
当初予算額	4,220	1,563		2,130	527
前年度予算額	3,399	1,258		1,716	425

目的	地域住民による「しぞ〜かでん伝体操」への取組みをきっかけとして、市内各地域に誕生した自らの力で健康維持を目指している市民自主グループ等の介護予防活動の継続と更なる活動の拡大を支援し、「健康寿命世界一」を実現させる。
----	---

事業概要	<p>1 自主グループの活動を支える人材の育成 1,318千円 (活動の質の向上と継続性の確保に対する支援の実施) ○介護予防活動拠点に対し、半年に1回定期的に支援できるインストラクターの養成と継続支援するためのスキルアップ研修を実施する。 ○サポーター(立上げ支援など)の養成</p> <p>2 自主グループの活動支援 2,902千円 (活動の幅の拡大と会員のモチベーションアップへの支援) ○インストラクターの定期的な訪問活動の実施 ○元気度測定会 拡充 歩く能力・姿勢変換能力・バランス能力などの測定を年2回実施する。1回目は元気度測定結果を見える化し課題及び、課題解決手法を提示。2回目は4か月間取り組んだ結果確認を行い介護予防の定着を図る。また、元気を維持できるように自主グループ等への参加を促していく。 ○しぞ〜かちやきちやき体操/脳活性プログラムの普及 新規 指の運動・口の運動・手足同時運動を行うことにより脳活性化を促す。しぞ〜かでん伝体操と共に実践することでより介護予防効果が期待でき健康寿命の延伸を図る。</p>
------	--



4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【新規】

高齢者就労促進事業

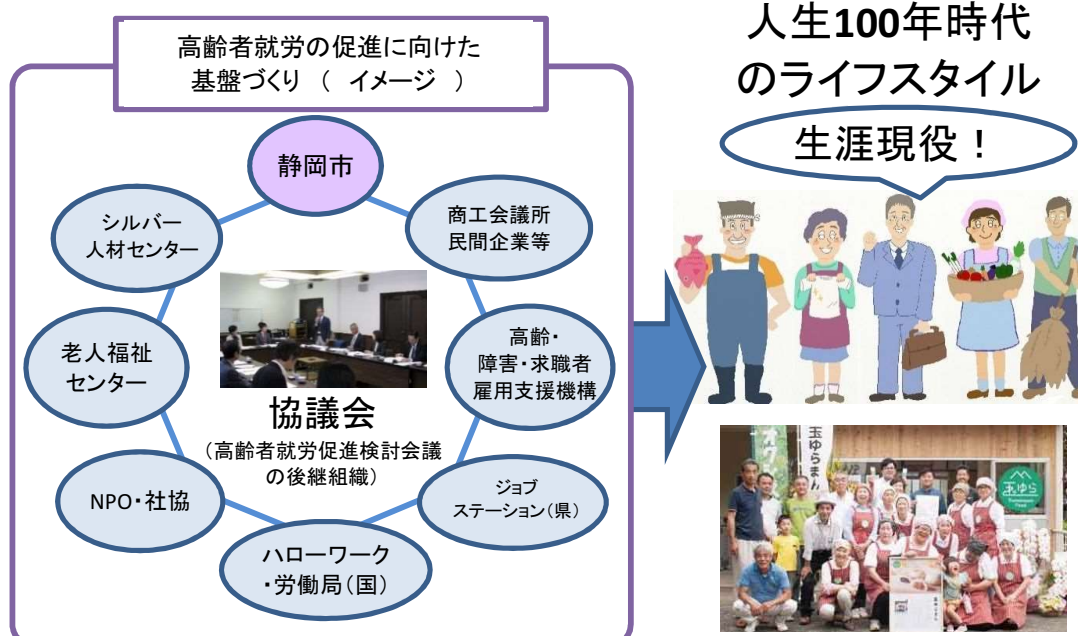
保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	4,570				4,570
前年度予算額					

目的	人生100年時代を見据え、就労を希望する高齢者が、生涯現役で企業や地域で働き活躍することができるよう環境を整備し、健康長寿のまちの実現を目指す。
----	--

事業概要	<p>高齢者には、意欲や健康状態、ライフスタイル、経済状況、過去の職業経験等に応じた多様な就労・社会参加ニーズがあることを考慮し、静岡市の地域特性を踏まえた高齢者就労を促進</p> <p>1 静岡市の高齢者就労についての調査、分析 4,000千円 ○高齢者と受入側である企業・地域等のニーズ調査 ○先進事例の調査・研究 ○雇用創出、起業支援検討のための調査 等</p> <p>2 協議会の開催を通じた就労促進 570千円 ○関係者間で課題分析、対策検討 ○高齢者と受入側である企業・地域等の現状・分析 ○マッチング支援などの現行の取組の改善・充実 ○新規雇用創出や起業支援に向けた新たな施策の検討 ○地域特性を踏まえた就労モデルの検討</p>
------	---



4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【新規】

徘徊認知症高齢者の搜索模擬訓練モデル事業

保健福祉長寿局

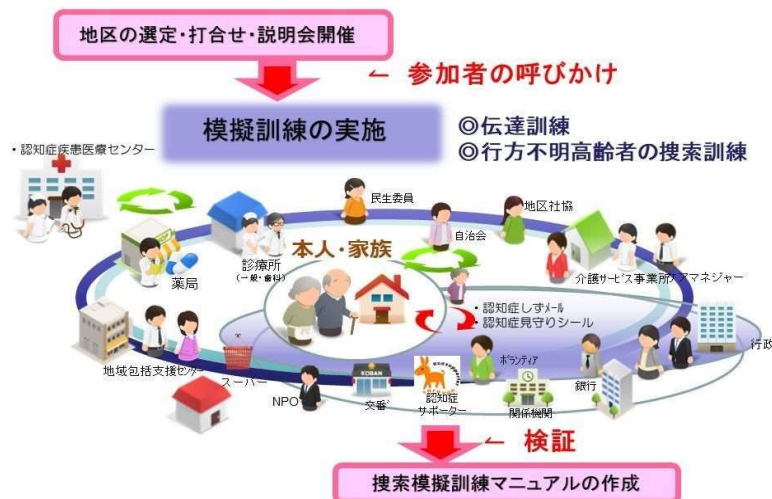
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (国38.5%、県19.25%)	市債	その他	
当初予算額	1,000	577		230	193
前年度予算額					

目的	地域での認知症高齢者についての理解を深めるとともに、見守りや連携体制を構築し、認知症による行方不明者をできるだけ早く安全に保護できる体制づくりを目指す。
----	--

事業概要	<p>小学校区程度のモデル地区3箇所で、地域住民や自治会、介護事業者等が参画する「徘徊認知症高齢者の搜索模擬訓練」を実施。認知症を正しく理解し、地域の見守り体制の充実と認知症高齢者にやさしい地域づくりを目指す。</p> <p>1 徘徊認知症高齢者の搜索模擬訓練の実施 190千円 取組み意向のある地区を選定し、情報伝達訓練及び徘徊役の認知症高齢者への声かけ、搜索を実施。予め設定したルートで、「しずメール」や「見守りシール」を活用しながら、発見・保護するまでの一連の流れを実施。 終了後は、訓練の振り返りと継続実施に向けた意見交換を行う。</p> <p>2 標準「搜索模擬訓練マニュアル」の作成 810千円 訓練実施地区の結果を受け、既存の認知症対策推進協議会等において検証を行い、今後、モデル地区以外の地区が取組めるよう、搜索模擬訓練の方法や連絡体制などを登載した、静岡市版標準マニュアルを作成。</p>
------	--

▶ 搜索模擬訓練のイメージ図



4 健康都市 ①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

【新規】

難病医療費支給等支援事業

保健福祉長寿局

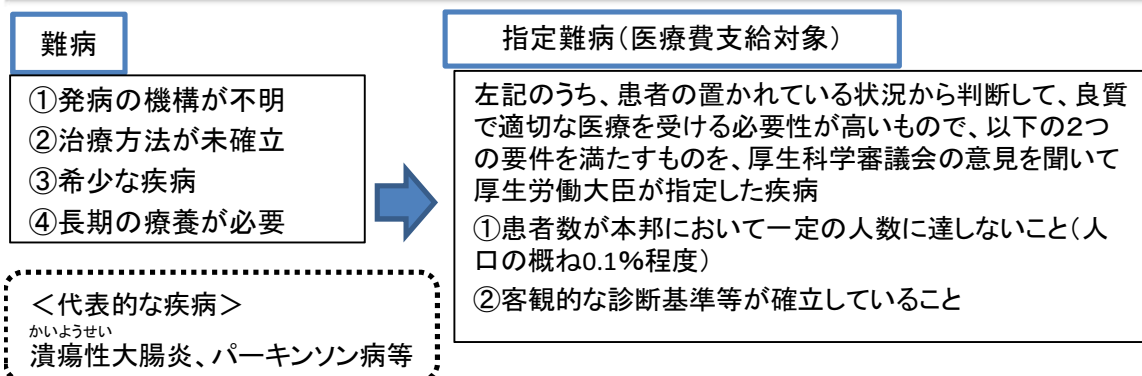
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	780,000	381,845		5	398,150
前年度予算額					

目的	難病の患者に対する医療費の支給や、難病相談支援センター設置等により、難病の患者及びその家族が安心して暮らすことができるよう支援を行う。
----	---

事業概要	<p>平成30年4月1日、県から政令市へ権限移譲されることに伴い、以下の取り組みを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○疾病数 331疾病 ○受給者数 5,794人 (H29.9末) <p>1 難病医療費の支給に関する事務 774,566千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○難病医療費の審査及び支払に係る事務 ○指定医の指定 ○指定医療機関の指定関係事務 ○指定難病審査会の設置 <p>2 療養生活の質の向上を図るための事業 5,434千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○難病相談支援センターの設置 ○難病対策地域協議会の設置 ○在宅人工呼吸器使用患者支援事業
------	--

難病とは・・・



指定難病患者への医療費支給

●公費1割、自己負担2割、保険7割

例)医療費 10万円

一般患者	一般的な負担 3割(3万円)		医療保険給付分 7割 (7万円)
難病患者	公費負担額:1万円(3万円-2万円)	自己負担額:2万円	

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

4 健康都市	市民が住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりの推進
4-②	静岡型子ども・子育て支援の推進

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成30年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
結婚支援									
1	子ども未来局	青少年育成課	継続	しずおかエンジェルプロジェクト推進事業	ソフト	3,648		99	79
2	子ども未来局	青少年育成課	拡充	★結婚新生活支援事業費助成	ソフト	10,000		94	79
妊娠・出産支援									
3	子ども未来局	子ども家庭課	継続	不妊治療助成事業	ソフト	215,855		-	82
4	子ども未来局	子ども家庭課	新規	産婦健康診査事業	ソフト	12,500		134	82
5	子ども未来局	子ども家庭課	拡充	産後ケア事業／ママケアデイサービス事業	ソフト	21,855		135	81
6	保健福祉長寿局	清水看護専門学校	新規	清水看護専門学校助産師養成課程開設準備事業	ハード ソフト	42,200		136	75
子ども・子育て支援(乳幼児期)									
7	子ども未来局	幼保支援課	継続	私立こども園・保育所等給付事業	ソフト	13,515,570		-	79
8	子ども未来局	子ども未来課	継続	幼児期の教育・保育の施設整備	ハード	493,297		137	78
9	子ども未来局	幼保支援課	継続	市立こども園等給付事業	ソフト	2,805,188		-	79
10	子ども未来局	こども園課	継続	市立こども園等運営事業	ソフト	1,850,847		-	80
11	子ども未来局	幼保支援課	継続	保育士等宿舍借上げ支援事業費助成	ソフト	10,368		-	80
12	子ども未来局	子ども未来課	新規	子育てしやすいまちPR事業	ソフト	1,346		-	78
13	保健福祉長寿局 子ども未来局	障害者福祉課 子ども家庭課	拡充	発達早期支援事業	ソフト	6,154		138	68 81
子ども・子育て支援(学童期)									
14	子ども未来局	子ども未来課	拡充	放課後児童クラブの整備・運営	ハード ソフト	1,244,284		139	78
15	市民局 子ども未来局	生涯学習推進課 子ども未来課	拡充	★生涯学習交流館・児童館建設事業	ハード	373,930		190	51 79
16	教育局	教育施設課	継続	小中学校校舎等大規模改修・ 校舎トイレリフレッシュ事業	ハード	1,008,582		140	115 116
17	教育局	教育施設課	継続	森下小学校校舎改築事業 (学校施設改築・長寿命化事業)	ハード	41,000		-	115
18	教育局	教育施設課	継続	小中学校基幹設備等改修事業	ハード	244,900		-	116
19	教育局	教育施設課	新規	小中学校空調設備導入検討調査事業	ソフト	10,000		141	116
20	教育局	学校給食課	継続	門屋学校給食センターPFI事業	ハード	148,916		-	119
21	教育局	学校給食課	継続	西島学校給食センターPFI事業	ハード	167,911		-	119
22	教育局	学校給食課	継続	中吉田学校給食センター特定天井等改修事業	ハード	116,728		-	119

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成30年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
23	教育局	教育施設課 学校給食課	拡充	日本一おいしい学校給食の提供事業	ハード ソフト	250,061	④健康長寿のまち	142	116 119
24	教育局	教育総務課	拡充	放課後子ども教室推進事業	ソフト	68,926		-	114
25	教育局	学校教育課	拡充	特別支援教育推進事業	ソフト	159,713		-	117
26	教育局	学校教育課	拡充	静岡型部活動システム構築・推進プロジェクト事業	ソフト	47,884		143	117
27	教育局	教育総務課	継続	学校応援団推進事業	ソフト	11,815		-	114
28	教育局	教育総務課	拡充	コミュニティ・スクール研究推進事業	ソフト	408		-	114
29	教育局	学校教育課	継続	小・中学校校務支援システム整備事業	ソフト	178,892		-	117
30	教育局	教育施設課 学校教育課	拡充	静岡型小中一貫教育の推進事業	ハード ソフト	22,698		-	117
31	教育局	学校教育課	新規	しずおか学の推進(グローバル人材の育成)	ソフト	8,714		144	117
32	教育局	学校教育課 教育センター	拡充	★英語を活用したコミュニケーション向上 プロジェクト(グローバル人材の育成)	ソフト	253,381		177	117 118 119 120
33	教育局	児童生徒支援課 (学事課)	拡充	★高校生、短大生、大学生等に対する 奨学金貸付事業	ソフト	51,420		92	118
若者支援									
34	子ども未来局	青少年育成課	拡充	ひきこもり対策推進事業	ソフト	24,013		-	79
困難を有する子ども・若者の支援									
35	保健福祉長寿局 子ども未来局 教育局	福祉総務課 子ども家庭課 児童相談所 教育総務課 児童生徒支援課 (学校教育課)	拡充	子どもの貧困対策の推進	ソフト	66,857		145	82 83 114
36	子ども未来局	児童相談所	継続	児童福祉施設入所措置事業	ソフト	5,458		-	82
37	子ども未来局	児童相談所	拡充	里親支援事業	ソフト	17,464		-	82
38	子ども未来局	児童相談所	継続	児童相談所運営事業 (児童相談所アドバイザーの設置)	ソフト	1,920		-	82
計						23,514,703			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成29年度当初予算額 22,714,769

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【新規】

産婦健康診査事業

子ども未来局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	12,500	6,250			6,250
前年度予算額					

目的	産後2週間、産後1か月など出産後間もない時期の産婦に対する健康診査に係る費用を助成することにより、産後うつの早期発見や新生児への虐待予防を図ることで母子への支援を強化し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を整備する。
----	--



事業概要	<p>産後2週間、産後1か月の産婦健診に係る費用を、1回5,000円を上限に助成する。(平成31年1月より開始)</p> <p>1 産婦健診の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実施回数 対象者1人につき2回を限度とする。 ○実施時期 第1回：概ね産後2週間 第2回：概ね産後1か月 ○対象者 平成31年1月1日以降に出産した産婦 ○実施項目 外来受診において実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・問診（授乳状況、育児不安等） ・診察 ・体重・血圧測定 ・尿検査 ・こころの健康チェック表 （エジンバラ産後うつ病質問票） ○実施場所 産科医療機関 ○実施方法 母子健康手帳交付時に産婦健康診査受診票を交付
------	--



4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【拡充】

産後ケア事業／ママケアデイサービス事業

子ども未来局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	21,855	10,495		864	10,496
前年度予算額	12,215	5,675		864	5,676

目的	<p>出産後の負担を軽減するため、助産師による母体の保護や保健指導などのサービスの提供（産後ケア事業）、相談支援や交流・休憩の場の提供（ママケアデイサービス事業）により、母子の孤立感を解消し、もう一人産みたくなる環境を整える。</p>
----	---

事業概要	<p>1 産後ケア事業 14,862千円</p> <p>○出産後の身体的機能の回復が必要な方や育児の不安感が高い方を対象に、①母体ケア、②乳児ケア、③授乳・沐浴等の育児指導、④乳房ケア、⑤育児相談等を提供し、母体の回復に向け、心身をケアする事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 生後4か月未満の乳児とその母親 <p>○実施種別</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊型：助産所等に宿泊 ・日帰り型：助産所等に通所 【相談と休憩タイプ】1回あたり7時間程度 【休憩タイプ】1回あたり120分程度 ・訪問型：助産師が対象者宅を訪問 <p>長期入院等、やむを得ない理由で乳児が外出できない場合は母のみの利用もできるようになりました。 拡充</p> <p>2 ママケアデイサービス事業 6,993千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産婦の悩みに応える相談支援や休息、交流の場の提供 ○市内の民間宿泊施設、温泉施設を活用し、官民協働で実施（対象）4か月以上1歳未満の子どもとその母親 ○1回あたり1,500円
------	--

産後ケア事業



母のみの利用も可能に
(長期入院等、やむを得ない理由で乳

ママケアデイサービス事業



民間宿泊施設、温泉施設を活

官民協働！

相談支援や交流、

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【新規】

清水看護専門学校助産師養成課程開設準備事業

保健福祉長寿局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	42,200		19,700		22,500
前年度予算額					

目的	清水看護専門学校に助産師養成課程を設置することにより、助産師学科進学時の人材流出を防止するとともに、助産師不足の解消を図り、子どもを産み、育てやすいまちづくりを推進する。
----	---

事業概要	<p>○開設予定年月日 平成31年4月1日</p> <p>○開設場所 静岡市立清水看護専門学校 (静岡市清水区宮加三1221番地の5)</p> <p>○入学資格 看護師免許取得(見込)者</p> <p>○修業年限 1年課程</p> <p>○学科定員 10名</p> <p>○平成30年度事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設改修工事 ・備品等購入 ・教員研修
------	--



4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

幼児期の教育・保育の施設整備

子ども未来局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (8/9)	市債	その他	
当初予算額	493,297	438,485	45,400		9,412
前年度予算額	3,318,157	2,822,737	462,700		32,720

目的	保育所等の待機児童解消に向けて、必要な教育・保育の受け皿を確保するための施設整備を推進する。
----	--



事業概要	平成30年度 整備予定 定員数301人	493,297千円
	1 既存保育施設の定員増	1か所 40人 126,258千円
	2 私立幼稚園の認定こども園移行	1か所 9人 133,819千円
	3 認定こども園等の新設	1か所 90人 185,220千円
	4 小規模保育事業等の新設	9か所 162人 48,000千円
	※箇所数及び定員増数には、補助を伴わない整備分（予算措置なし）を含む。	

【事業計画の全体像】

27年度から30年度までの4年間で
2,986人分の定員増



<静岡市子ども・子育て支援プランにおける教育保育の量の確保の目標と実施見込み>

確保方策	計画	実施見込み		
		平成27~29年度	平成30年度	合計
1 既存保育施設の定員増	24か所 381人	24か所 390人	1か所 40人	25か所 430人
2 私立幼稚園の認定こども園移行	14か所 783人	13か所 798人	1か所 9人	14か所 807人
3 認定こども園等の新設	16か所 1,270人	15か所 1,150人	1か所 90人	16か所 1,240人
4 小規模保育事業等の新設	31か所 552人	21か所 372人	9か所 162人	30か所 534人
合計	85か所 2,986人	73か所 2,710人	12か所 301人	85か所 3,011人

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【拡充】

発達早期支援事業

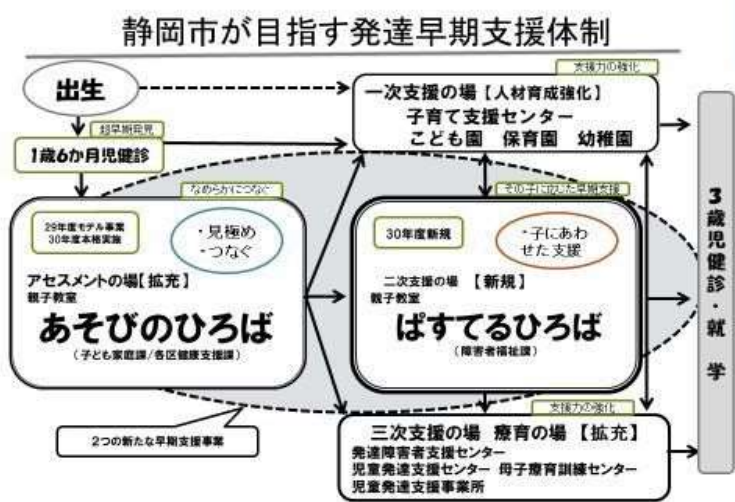
保健福祉長寿局・子ども未来局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	6,154				6,154
前年度予算額	808	404			404

目的	<p>発達の気になる子の早期発見、支援を行う親子教室と、その後支援が必要な子を受け入れる場を同時に整備することで、就学前までの切れ目のない発達早期支援体制を構築する。</p>
----	---

事業概要	<p>切れ目のない発達早期支援体制の構築</p> <p>1 アセスメントの場「あそびのひろば」の整備 拡充 3,132千円 1歳半健診から発達の気になる子を超早期につなぐ支援の場を整備。あそびを中心とした小規模集団活動を体験的に行い子どもの発達を見極め、次の適切な支援先につなぐ。 ○場所 3か所（城東・南部・清水保健福祉センター） ○回数 1クール（3か月：5回）×4クール×3か所 ○人数 1クール10組（計120組） ○時期 平成30年4月～</p> <p>2 二次支援の場「ぱすてるひろば」の整備 新規 3,022千円 「あそびのひろば」で引き続き支援が必要な子などを受入れる場を実施し、子どもの特性に合わせた支援を年間を通して行い、子の発達を促す。 ○場所 未定（3か所） ○回数 1か所：18回（3か所：54回） ○人数 1教室10組 ○時期 平成30年7月～</p>
------	--



4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【拡充】

放課後児童クラブの整備・運営

子ども未来局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	1,244,284	789,413	86,400	19,000	349,471
前年度予算額	927,045	562,786	68,700		295,559

目的	放課後児童クラブへの入会希望者が全員利用できるように、施設整備拡充を行うとともに、民間児童クラブへの支援を進めるほか、利用者負担の軽減・開所時間の延長など、運営の充実を図り、利用しやすい環境を整える。
----	--

事業概要	平成30年度 当初の受入児童数	5,020人
	1 放課後児童クラブ室の整備 拡充	404,090千円
	○ 19室のクラブ室整備 (620人)	
	2 放課後児童クラブの運営	794,367千円
	○ 78クラブ (141室)	
	○ 支援の質の向上及び安定的なクラブ運営に向け、支援員全体の処遇を見直し 拡充	
	○ 開所時間を原則19時まで延長 拡充	
	○ 世帯の所得やきょうだいの入会状況等により利用者負担額を軽減	
	3 放課後児童クラブへの助成 拡充	45,827千円
	○ 基準を満たす民間児童クラブに対し運営費を助成	
	○ 世帯の所得やきょうだいの入会状況等により民間児童クラブの利用者負担額を軽減	
	4 放課後子ども教室 (教育局) との連携による放課後児童対策の推進 拡充	
	○ 地域住民の参画により、放課後、学校施設を利用して全学年の児童を対象に安心・安全な体験・交流の場を提供する「放課後子ども教室」との連携を進めることで、放課後児童対策を推進	
	放課後児童クラブとの一体型 28校 (放課後子ども教室 44校実施予定)	

放課後児童クラブの様子



4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

小中学校校舎等大規模改修・校舎トイレリフレッシュ事業

教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/4、1/3、1/2)	市債	その他	
当初予算額	1,008,582	208,110	457,100	55,000	288,372
前年度予算額	1,139,400	275,458	774,600		89,342

目的	<p>静岡市アセットマネジメント基本方針に基づき、児童・生徒が安心・安全に教育を受けられる環境整備と、地域住民の避難所としての機能を確保するため、小中学校校舎等の長寿命化及び老朽化対策とあわせた耐震性能を向上させる大規模改修工事を計画的に進める。</p>
----	---

事業概要	<p>1 建築後概ね35～45年を経過した小中学校の校舎を対象に、老朽化対策と耐震性能を向上させるため大規模改修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 設計 34,300千円 <ul style="list-style-type: none"> ・(小学校)校舎 清水入江小学校 合計1校 ○ 工事等 670,382千円 <ul style="list-style-type: none"> ・(小学校)校舎 長田東小学校等 合計3校 <p>2 小中学校のトイレについて、和便器から洋便器への更新、床のドライ化、ブース改修等のリフレッシュ事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 設計 17,600千円 <ul style="list-style-type: none"> ・(小学校) 中田小学校等 計5校 ・(中学校) 蒲原中学校等 計2校 合計7校 ○ 工事等 286,300千円 <ul style="list-style-type: none"> ・(小学校) 千代田小学校等 計5校 ・(中学校) 清水両河内中学校等 計3校 合計8校 <p>～洋式化率の推移とH32末目標～</p> <p>H27末 → H28末 → H29末 → H30末 … H32末</p> <p>39.2% → 41.9% → 43.7% → 47.0% 残り3.0% 50%</p> <p style="text-align: center;"> 2.5%UP 1.8%UP 3.3%UP! </p> <p style="text-align: right; color: red;">事業を加速中!</p>
------	--

校舎改修前(例)



校舎改修後(例)



- ・耐震(構造保全)工事
- ・天井の雨漏りを改修
- ・老朽化した外壁を塗り替える
- ・内装の改修(床・壁)
- ・電気設備の改修
- ・衛生設備の改修 など

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【新規】

小中学校空調設備導入検討調査事業

教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	10,000				10,000
前年度予算額					

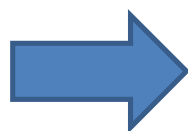
目的	「静岡市学校環境改善基準」に基づき、児童・生徒が快適に教育を受けられる環境を整えるため、空調設備の導入に向けた具体的な調査、検討を行う。
----	--

事業概要	<p><文部科学省 学校環境衛生基準> 教室等の温度基準は10℃以上30℃以下が望ましい</p> <p><静岡市学校環境改善基準（平成30年1月策定）></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成28年度普通教室温度調査結果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 真夏日に室温が28℃超となる学校が95% ※30℃超となる学校も73%。地理的差異なし ・ <u>屋上散水や夜間換気では大きな効果は得られない</u> ○ 静岡市独自の学校環境改善基準 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象：児童・生徒の生活時間が一番長い<u>普通教室</u> ・ 環境基準：室温は10℃(冬季)から28℃(夏季) ○ 環境改善手法として<u>空調設備の設置が必要</u> <p>整備費用、維持管理費、光熱水費などに多額の経費を要するため、<u>事業手法や整備プロセスの検討が必要</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 対象校 市内全小中学校 ○ 事業内容 現地調査、事業費用と維持管理費用の算出、空調設備方式の比較検討、PFIの検討 等
------	---

<平成28年度 小中学校教室温度測定結果>

夏季に28℃を超える温度を記録した学校は全校中95%!

	中山間地	市街地	郊外海岸	計
学校数	28	75	10	113
28℃を超える学校数 (最も高温を記録した教室)	25	74	8	107
率	89%	99%	80%	95%



4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【拡充】

日本一おいしい学校給食の提供事業

教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (10/10)	市債	その他	
当初予算額	250,061	4,944	170,300	51,000	23,817
前年度予算額	104,557	4,700	73,300		26,557

目的	「日本一おいしい学校給食」の提供実現のため、『静岡ならではの献立』を研究開発し、「全国学校給食甲子園」へチャレンジするとともに、学校教育活動を通じた食育を推進し、生涯を通じて健康・安心で活力ある生活を送るための基礎を培う。
----	---

事業概要	<p>1 第13回「全国学校給食甲子園」への挑戦 37千円 「全国学校給食甲子園」の優勝に向け、地場産物を活用した『静岡ならではの献立』を研究開発し、出品する。また、出品献立を活用した食育指導を実施する。</p> <p>2 学校教育活動を通じた食育の推進 1,080千円 平成28年度と29年度の2箇年で取り組んできた文部科学省の委託事業で開発した個装の釜揚げしらすやお茶(緑茶)大福などを学校給食で提供する。また、2年間の取組の成果をまとめた啓発チラシを制作し食育指導の教材として活用する。</p> <p>3 校外調理方式の解消 244,000千円 清水地区の中学校11校の校外調理方式を解消し、平成31年度より学校給食センター方式へ移行するため、各中学校に給食受領室を整備する。</p> <p>4 学校給食費会計業務の改善に向けた研究 新規 4,944千円 学校給食費会計業務のあり方の見直しに向け、今後の学校給食費の徴収管理の手法等について、調査検討を実施する。</p>
------	--

【平成30年度「全国学校給食甲子園」出場献立(案)】

(視点) 「静岡らしさ」をより伝えることができる地元食材の活用



ごはん、牛乳、鰹の干物揚げ、ピーナッツ和え、駿河汁(駿河湾のいわしのつみれ・静岡の葉ねぎ)、はるみ



まぐろのしぐれ丼(由比ツナオリーブ油漬け、牛乳、即席漬け、豚汁(長田唐芋)、はるみ



ごはん、牛乳、黒はんぺんのフライ、桜海老入りおひたし、豚汁(美和地区の青大豆味噌)、はるみ

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【拡充】

静岡型部活動システム構築・推進プロジェクト事業

教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (10/10、1/3)	市債	その他	
当初予算額	47,884	6,723		440	40,721
前年度予算額	40,614	6,948		66	33,600

目的	部活動を、生徒にとって一層有意義な活動とするために、平成30年4月から「静岡市立中学校部活動ガイドライン」の運用を始め、効率的・効果的な指導を行い、部活動の質を高める。
----	--



事業概要	<p>1 部活動指導員の配置 拡充 43,933千円</p> <p>(1) 外部顧問の配置 地域の人材を教育委員会が研修を実施した上で、ライセンスを付与し、単独での指導・大会引率ができる外部顧問として配置 平成30年度 16人 (平成29年度：5人) 11人増!</p> <p>(2) 外部指導員の配置 地域の人材を教員顧問の技術的指導の補助を行う外部指導員として配置 平成30年度 125人</p> <p>2 スポーツ国際交流員 (SEA) の配置 新規 3,951千円</p> <p>国際的にトップレベルの指導力を有するスポーツ国際交流員 (SEA=Sports Exchange Advisor) 1人を海外から招へいし、陸上競技の指導方法「静岡モデル (案)」を策定し、静岡市全体の指導力向上に繋げる。</p>
------	--



外部顧問ライセンス講習会の風景



外部顧問の指導風景

4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【新規】

しずおか学の推進（グローバル人材の育成）

教育局

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	8,714			3,474	5,240
前年度予算額					

目的	小中学校の9年間を通じた静岡型小中一貫教育の中で、地域や静岡市に愛着と誇りを持ち、広く社会や世界に目を向け、本市の発展に寄与する人材の育成を目指す。
----	--

事業概要	<p>1 課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成するための地域の特色に視点を当てた学習</p> <p>(1) <u>しずおか学副読本の作成</u> 新規 5,240千円 静岡市の特色を題材に学習を進めるために、6分野（お茶・しずまえ・オクシズ・海洋文化・防災・歴史文化）に関する副読本を作成 ※各小中学校は1分野以上を選択</p>
	<p>2 地域の企業の特色や知識・技能を活かした学習</p> <p>(1) <u>キャリア教育推進事業</u> 新規 1,685千円 地元企業の協力を得て、仕事の内容などを実践的に学ぶ「企業教育プログラム」を実施</p> <p>(2) <u>プログラミング教育推進事業</u> 新規 1,789千円 平成32年度からスタートするプログラミング教育を見据え、産業界・教育機関・行政（産学官）による研究を実施</p> <p>★グローバル人材：グローバル（Glocal）とはグローバル（Global）とローカル（local）からの造語で、グローバル人材とは『世界的な規模で考えて、身近なところから行動できる（Think globally, act locally）』人材</p>

静岡市ならではの素材に視点をあてた学びの系統図

	1・2年生	3・4年生	5・6年生	7～9年生 (中1～3年生)
生活科 ／社会科	生活科		社会科	
道徳				
総合的な 学習の時間				
各教科 ・領域等				

生活科 → 社会科
 社会科 → 生活科、道徳、総合的な学習の時間、各教科・領域等
 道徳 → 社会科、生活科、総合的な学習の時間、各教科・領域等
 総合的な学習の時間 → 生活科、道徳、社会科、各教科・領域等
 各教科・領域等 → 生活科、道徳、社会科、総合的な学習の時間

全校実施：社会科副読本を活用
 全校実施：しずおか学一Bookを活用（マナーブック）
 分野を選択して全校実施：しずおか学副読本を活用
 主に特別活動の中でキャリア教育を実施
 各教科・領域等でプログラミング教育を実施

しずおか学副読本の6分野



4 健康都市 ②静岡型子ども・子育て支援の推進

【拡充】

子どもの貧困対策の推進

保健福祉長寿局・子ども未来局・教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2、1/3)	市債	その他	
当初予算額	66,857	24,689			42,168
前年度予算額	61,228	17,696			43,592

目的	学校や地域、福祉関係機関等が連携し、支援を必要とする子ども・家庭を確実に捉え、教育の支援・生活の支援・保護者の就労支援・経済的支援を行う。
----	---



事業概要	平成30年度新規・拡充事業
	<p>1 ひとり親家庭等の子どもへの学習支援事業 23,745千円</p> <p>大学生等のボランティアの協力を得て、安心して過ごせる居場所を提供するとともに、子どもの気持ちに寄り添った学習支援と生活支援を実施</p> <p>○支援対象：小中学生まで⇒高校生まで 拡充</p> <p>○学習支援：会場を新設し市内10ヶ所を実施 拡充（6ヶ所：120人 ⇒ 10ヶ所：180人）</p> <p>○生活支援：市内3ヶ所を実施</p> <p>2 生活困窮者子どもの学習意欲向上事業 3,027千円</p> <p>子どもが学習に対しての習慣づけや進学意欲を持ち、進学等による将来の就労条件、就職率の向上を助長することで、貧困の連鎖を防止するため、家庭相談員による世帯への訪問支援等を実施</p> <p>○支援対象 小学5年生から中学生まで⇒高校生まで 拡充</p> <p>3 スクールソーシャルワーカー活用事業 21,716千円</p> <p>就学前から卒業後まで切れ目のない支援を行うために、貧困や虐待など複雑な問題を抱える子ども・家庭の支援、学校と福祉機関とをつなぐ役割を担うスクールソーシャルワーカーを配置</p> <p>平成30年度：小中学校 12名 拡充（時間数・対象範囲） 高等学校 2名 新規（市立の高校 各1名）</p> <p>4 要保護児童への自立支援事業 18,369千円</p> <p>児童養護施設への入所児童や里親に委託措置された児童等の自立を支援</p> <p>○生活相談支援事業を委託 拡充</p> <p>○児童養護施設への心理療法担当職員を1名加配</p> <p>○児童養護施設入所児童等の四年制大学等への進学支援</p> <p>○大学等進学、就職、一人暮らし開始時の援助</p>

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

4 健康都市	市民が住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりの推進
4-③	健康都市の実現に向けた基盤整備

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成30年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
自転車を利用しやすいまち									
1	建設局	道路保全課	継続	★交通安全施設整備事業 (自転車走行空間ネットワーク整備事業)	ハード	289,700		147	109
2	都市局	交通政策課	継続	自転車利用計画推進事業	ソフト	1,364		-	99
3	市民局 観光交流文化局 子ども未来局 都市局 教育局	生活安心安全課 スポーツ振興課 こども園課 交通政策課 児童生徒支援課 (学校教育課)	新規	自転車安全教育推進関係事業	ソフト	18,790	④健康長寿のまち	148	52 62 80 99 118
歩いて楽しいまち									
4	都市局	市街地整備課	継続	★呉服町通線(紺屋町地区)道路整備事業	ハード	212,000	⑤まちは劇場	149	100
5	観光交流文化局 都市局	まちは劇場推進課 (観光交流課) 都市計画課	拡充	★まち劇スポット推進事業	ソフト	23,208	⑤まちは劇場	79	61 98
6	都市局	都市計画課	継続	★静岡都心地区交通適正化事業	ソフト	20,000	⑤まちは劇場	150	98
7	都市局	都市計画課 市街地整備課	拡充	★追手町音羽町線等にぎわい空間創出事業	ハード ソフト	114,051	①歴史文化	36	98
8	都市局	緑地政策課 公園整備課	継続	★駿府城公園「桜の名所」づくり事業	ハード	17,600	①歴史文化	35	102
9	観光交流文化局	スポーツ振興課	継続	★駿府城公園周辺ランニング等環境づくり事業	ソフト	16,191	①歴史文化	38	62
10	都市局	清水駅周辺整備課	継続	★JR草薙駅周辺整備事業(南北駅前広場整備)	ハード	299,879	③教育文化	57	100
11	都市局	都市計画課	継続	★JR草薙駅北口国道1号横断施設検討事業	ソフト	10,000	③教育文化	58	98
12	都市局	都市計画課	継続	★JR草薙駅北口周辺土地利用計画 (用途地域等)見直し事業	ソフト	3,000	③教育文化	58	98
13	都市局	清水駅周辺整備課	継続	★JR草薙駅周辺エリアマネジメント支援事業	ソフト	3,000	③教育文化	59	101
14	都市局	清水駅周辺整備課	新規	★公共空間を活用した大学間連携による まちづくりフェス開催事業	ソフト	1,200	③教育文化	60	101
15	都市局	交通政策課	継続	鉄道駅のバリアフリー化設備整備事業費助成	ハード	71,385		-	99
16	都市局	都市計画課	継続	静岡市立地適正化計画策定事業	ソフト	6,000		-	98
17	都市局	緑地政策課	新規	★静岡市パークPFI制度の基本計画策定事業	ソフト	5,000	⑤まちは劇場	78	101
18	建設局	道路保全課	継続	交通安全施設整備事業 (バリアフリー道路特定事業)	ハード	142,000		-	109
その他									
計						1,254,368			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成29年度当初予算額 1,790,900

4 健康都市 ③健康都市の実現に向けた基盤整備

交通安全施設整備事業（自転車走行空間ネットワーク整備事業） 建設局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5.5/10)	市債	その他	
当初予算額	289,700	139,535	110,500	36,000	3,665
前年度予算額	237,000	105,050	79,800	26,000	26,150

目的	自転車や歩行者が、安心して通行できる道路空間の提供
----	---------------------------

事業概要	<p>整備予定箇所の道路の現状（車道や歩道の幅）に応じた整備を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主な整備手法 <ul style="list-style-type: none"> ・自転車専用通行帯（自転車レーン） 外側線（白線）の外側（路肩）を青色で着色し、自転車の通行位置を明示する。 ・車道混在（矢羽根マーク・自転車ピクト） 自転車（車道左側端）の通行位置を明示する。 ○主な整備予定箇所 <ul style="list-style-type: none"> ・追手町新通り弥勒町線（葵区弥勒町付近） ・清水港線（清水区駒越北町付近） ほか
------	---

安全で快適な自転車走行空間を整備



4 健康都市 ③健康都市の実現に向けた基盤整備

【新規】

自転車安全教育推進関係事業

市民局・観光交流文化局・子ども未来局・都市局・教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (10/10)	市債	その他	
当初予算額	18,790	1,522			17,268
前年度予算額					

目的	「静岡市自転車利用計画」に掲げた”世界水準の自転車都市”を目指し、民間と連携して、「健康の増進」、「環境負荷の軽減」、「利用の促進」、「賑わいの創出」、「モラルの向上」等を図り、健康長寿のまちづくりに寄与する。
----	---

事業概要	<p>○平成30年度事業内容：自転車安全教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立こども園にキックバイクを導入 1,416千円 市立こども園 全59園に2台ずつ配置 ・幼児期における自転車安全教育を実施 5,000千円 市立こども園 全59園を対象 ・小、中学生における自転車安全教育を実施 1,522千円 小学校3校、中学校3校を対象 ・自転車安全教育プログラムの作成等 3,100千円 幼児期から高齢者までの段階ごとに交通安全教育を推進するデンマークの自転車安全教育を参考に教本等を作成 ・サイクルフェスの開催 6,000千円 H30.11頃に静岡競輪場と池田東静岡公園で同時開催予定 ・キックバイクイベントへの助成 1,500千円 H30.10.5(土)、6(日)に東静岡アート&スポーツ広場で開催予定 ほか <p>(期待される効果) 幼児期から段階的かつ体系的な自転車安全教育を実施することにより、自転車マナーの向上や自転車事故を削減。</p>
------	---



キックバイク体験会 (サイクルフェスin東静岡)



自転車キッズ検定 (競輪場イベント)



学校における自転車安全教育の様子 (小中学校)



自転車安全教育 勉強会の様子

4 健康都市 ③健康都市の実現に向けた基盤整備

呉服町通線（紺屋町地区）道路整備事業 都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	212,000	106,000	103,400	2,000	600
前年度予算額	34,300	17,150	15,400		1,750

目的	<p>中心市街地における歩行者の安全性と回遊性を向上させるため、呉服町通線（紺屋町地区）について、政令市の玄関口にふさわしい賑わいと憩いのある空間を形成し、歩いて楽しいまちづくりを推進する。</p>
----	---

事業概要	<p>呉服町通り（紺屋町地区）において、賑わいと憩いのある歩行者優先空間を創出するため、車両交通規制の時間帯の拡大を目指し、平成30年度はパルコ前街区の道路整備等を実施する。</p> <p>1 事業期間 平成25年度～平成31年度</p> <p>2 平成30年度事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道路整備工事（パルコ前街区L=約80m） <ul style="list-style-type: none"> ・歩車道ブロック舗装 ・照明灯、ベンチ ほか ・地下道出入口上屋改修 3箇所 <p>（期待される効果）</p> <p>歩きやすく魅力的な歩行者空間や滞留空間を創出することで、更なる賑わいによるまちの魅力向上。</p>
------	---

呉服町通線（紺屋町地区）道路整備イメージ

注）図面や写真はイメージであり、今後変更となる可能性があります。



4 健康都市 ③健康都市の実現に向けた基盤整備

静岡都心地区交通適正化事業

都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	20,000	10,000			10,000
前年度予算額	10,000	5,000			5,000

目的	静岡都心地区において、歩行者や自転車が安全かつ快適に回遊・滞留できる空間形成による歩いて楽しいまちづくりを推進する。
----	--

事業概要	<p>歩行者や自転車が安全かつ快適に回遊・滞留できる空間形成を目指し、都心を通過する自動車交通の適正化を図る。</p> <p>○平成30年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車流入の抑制に必要な迂回誘導施策の計画立案 ・主要交差点における交差点改良に向けた概略検討 ・実現可能な段階的整備に向けた検討 <p>(期待される効果)</p> <p>江川町交差点、中町交差点等、主要な交差点を更に平面横断化することで、静岡都心地区内の移動・回遊性の向上が図られることにより、街なかの賑わい創出が期待される。</p>
------	--



防災都市

<プロジェクトの目標>

いざという時にも自分の身を守り
互いに助け合うことで
**災害に強く、安心・安全
に暮らせる**まちづくりの推進



<成果目標>

「災害に強く、安心・安全に人が暮らせる
まち」と思っている市民の割合(市民意識調査)

そう思う 57%(H26) → **75%(H34)**

「防災への取り組み」に満足している市民
の割合(市民意識調査)

満足している 39%(H26) → **70%(H34)**

①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

総務局、企画局、経済局、都市局、建設局、消防局、
上下水道局、教育局

実現すべき将来像

○従来の施策の充実・強化や甚大な津波想定への対応
など、新たな課題に対する対策

課題と対応策

災害対応時に各地区支部において、防災情報を取得
できないという問題が生じている。問題点解決のためには、
効果的に各地区支部で情報が収集できる方法の検討に
取り組む必要がある。

レベル1地震・津波対策として、用宗漁港での浸水エリ
ア軽減を図るためにも、海岸保全施設(胸壁)整備の早期
完了を目指す必要がある。

消防団員確保対策において、入団促進に向けた広報
活動の効果が得られるまでに時間を要し、今後、新たな
確保対策に取り組む必要がある。

平成30年度の取組

○津波避難施設整備では、津波避難ビル事業費助成に
より津波避難が困難な地域の解消に努め、自助・共助の
取組を強化するため、自主防災組織に対し支援を継続す
る。

○レベル1地震・津波対策として、用宗漁港での浸水エリ
ア軽減を図るためにも、海岸保全施設(胸壁)整備の早期
完了を目指す。

○公共施設等の耐震化では、住宅、建築物等の耐震補
強事業を行う申請者に対して、補助金を助成することに
より、耐震化を促進する。また、橋梁耐震化計画に基づき、
橋りょうの耐震化を実施する。

○消防団員確保対策事業については、これまでの実施事
業の更なる浸透及び発展と併せ、新たな入団促進対策に
ついて検討を行い、地域防災力の充実・強化を図る。

○緊急輸送路等の整備では、(主)山脇大谷線(大谷工
区)の延伸、(主)井川湖御幸線、(主)清水富士宮線の整
備を推進することで、緊急輸送道路の機能強化を図る。

○下水道施設津波対策事業では、7施設の耐津波診断
を実施し、対象17施設全ての診断が完了となる。

津波避難施設 の整備



津波避難ビル事業費助成
(総務局)【40,000千円】

公共施設等の 耐震化



建物の耐震化等助成事業
(都市局)【151,570千円】

消防力 充実・強化



消防団員確保対策事業
(消防局)【2,459千円】



海岸保全施設整備事業
(経済局)【153,400千円】



橋りょう耐震化事業
(建設局)【679,480千円】

緊急輸送路等 整備



緊急輸送路整備
(主)清水富士宮線ほか
(建設局)【1,825,400千円】

② 浸水・土砂災害対策の拡充等

総務局、都市局、建設局、上下水道局

実現すべき将来像

○国・県と連携し、重点整備(選択)による浸水・土砂災害対策を推進し、市民の生命を守り、安心して暮らせる防災体制づくりを確立

課題と対応策

浸水対策については、国からの交付金の認証減により、事業全体の進捗に影響する可能性があるため、引き続き国への要望活動を行い、予算確保に努めていく。

全国各地で多発している大規模な水害等の問題解決のためハード整備を着実に進め、量水標の設置などソフト対策にも取り組む必要がある。また、市民の皆さんに本市ハザードマップに掲載している浸水・土砂災害に関する情報など、様々な活用方法についての理解を深めてもらうため、関係局と記載内容の調整を進め、市政出前講座等で理解度の向上に取り組む必要がある。

平成30年度の取組

○浸水対策では、引き続き(普)谷津沢川、(普)和田川等の河川改修を行い、流下能力の向上を図るとともに、高橋雨水ポンプ場、広野地区等の雨水幹線の整備を行い、浸水被害の軽減を図る。

○新たな巴川洪水浸水想定区域の発表に伴い、洪水ハザードマップを更新し、洪水災害に伴う被害の軽減を図る。

○内水ハザードマップは、清水区北部(袖師、庵原、興津)地区の作成と公表、服織・井宮地区の基礎調査を実施し、引き続き各種ハザードマップ関係局と記載内容の調整、理解度向上のPR活動を進める。

○雨水貯留浸透施設設置等補助金交付事業は、申請件数増加に向け、引き続き広報活動の効果を検証し、効果的な活動に取り組む。

○土砂災害対策では、急傾斜地崩壊対策事業を促進するため、県と連携し、早期に事業化されるよう働きかけを行うとともに、助成制度を多くの市民の皆さんに活用していただける様に、制度内容を広める。

また、公園の土砂災害等防止対策事業では、平成30年度も引き続き、八幡山公園及び西ノ谷公園崩壊防止対策事業において、施設整備工事を実施し、土砂災害対策事業を推進する。

浸水対策



河川改修・下水道施設整備
(建設局)【136,000千円】
(上下水道局)【3,880,911千円】

土砂災害対策



急傾斜地崩壊対策事業
(建設局)【18,000千円】



土砂災害等防止対策事業(公園)
(都市局)【127,000千円】

③ 再生可能エネルギーの導入・普及促進

企画局、総務局、環境局、経済局

実現すべき将来像

○豊かな地域資源を活用した再生可能エネルギーの普及
○次世代のエネルギーとして期待される「水素」を活用したまちづくり

課題と対応策

再生可能エネルギーの導入については、官民の垣根を越えた連携が不可欠である。

平成29年度は、葵区清沢地区における小水力発電の導入を促進するため、関係者を集めて協議会を設置し、地域おこしを主軸とした導入促進を進めている。

将来、有望なエネルギーとして期待されている水素の需要を拡大していくには、需要家である市民・事業者の理解の促進が必要である。産学官連携により環境教育やイベント等の普及啓発活動を推進する必要がある。

平成30年度の取組

○水素エネルギーの需要拡大を図るため、燃料電池や燃料電池自動車購入に対する助成を行うとともに、水素ステーションでの環境教育を行う。また、燃料電池自動車を保有する市内企業と連携し、イベントや防災訓練時に、外部給電による電気供給のデモンストレーションを実施する等、市民・事業者の水素エネルギーへの理解、普及促進に向けた取組を行う。

○若年層に向けた啓発のため、静岡科学館る・く・るで水素をテーマとした企画展を開催するとともに、小中学校で科学教室(出前教室)を実施する。

静岡型水素タウン構想に向けた取組

対象機器例



家庭用燃料電池
写真提供: パナソニック株



燃料電池自動車
写真提供: トヨタ自動車株



静岡型水素タウン促進事業
費助成(環境局)
【12,000千円】

静岡型水素タウン促進事業
(環境局)【8,188千円】

再生可能エネルギーの導入・普及促進



地球温暖化対策普及啓発事業
(環境局)【11,200千円】



3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

5 防災都市	様々な危機に備えた減災力が高い安心・安全なまちづくりの推進
5-①	災害対応力の強化と危機管理体制の確立

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成30年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
津波避難施設の整備									
1	総務局	危機管理課 (危機管理総室)	継続	津波避難ビル整備事業費助成	ハード	40,000		-	46
2	総務局	危機管理課 (危機管理総室)	継続	津波避難誘導設備整備事業	ソフト	3,650		-	45
3	経済局	水産漁港課	継続	海岸保全施設整備事業(用宗漁港胸壁)	ハード	153,400		-	95
公共施設等の耐震化									
4	都市局	建築指導課	継続	建物の耐震化等助成	ハード ソフト	147,070		156	103 104
5	都市局	建築指導課	継続	要緊急安全確認大規模建築物耐震対策事業	ハード	21,406		157	104
6	都市局	建築指導課	継続	ブロック塀等耐震改修事業費助成	ハード	6,235		-	104
7	建設局	道路保全課	継続	橋りょう整備事業	ハード	679,480		158	109
8	建設局	河川課	継続	河川構造物耐震対策事業	ハード	90,000		-	108
消防力の充実強化									
9	消防局	警防課	継続	消防団員確保対策事業	ソフト	2,459		159	112
10	消防局	財産管理課 救急課	継続	常備消防装備整備事業	ソフト	633,414		-	112
防災・減災のための情報発信									
11	総務局	危機管理課 (危機管理総室)	継続	自主防災活動支援事業費助成	ハード	50,000		-	46
12	総務局	危機管理課 (危機管理総室)	継続	津波避難教育事業(小中学校図上学習)	ソフト	1,400		-	45
13	建設局	道路保全課	継続	道路自然災害防除事業 (道路情報等提供システムの構築)	ハード ソフト	25,000		-	109
緊急輸送路等の整備									
14	建設局	道路計画課	継続	★国道1号静岡バイパス整備促進事業	ハード	1,301,740		160	108
15	建設局	道路計画課	継続	★道路ネットワークの整備 (主)井川湖御幸線、(主)山脇大谷線、 (主)清水富士宮線)	ハード	1,707,400		160	108
16	建設局	道路計画課	継続	★地域高規格道路(南北道路)調査事業	ハード	8,100	③教育文化	160	108
17	都市局	建築指導課	継続	狭あい道路拡幅整備事業	ハード ソフト	80,000		162	103
18	建設局	道路保全課	継続	道路自然災害防除事業 (道路トンネル対策及び法面対策事業)	ハード	864,490		163	109

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成30年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
19	建設局	道路保全課	継続	交通安全施設整備事業(無電柱化事業)	ハード	218,000		-	109
その他									
20	上下水道局	下水道施設課	継続	下水道施設津波対策事業	ソフト	84,000		-	152
21	総務局	危機管理課 (危機管理総室)	拡充	感震ブレーカー設置費助成	ソフト	30,000		164	45
計						6,147,244			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成29年度当初予算額 6,208,908

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

建物の耐震化等助成

都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (国1/2、県3/8ほか)	市債	その他	
当初予算額	147,070	106,970			40,100
前年度予算額	248,659	179,529			69,130

目的	住宅、建築物の所有者が行う耐震対策を支援し、南海トラフ巨大地震等発生時における人的、物的被害の減少を図る。
----	---



事業概要	<p>1 わが家の専門家診断事業 23,160千円 ○昭和56年5月末以前に建築された木造住宅を対象に、無料で耐震診断を行うための専門家を派遣 ○予定件数 500件</p> <p>2 住宅・建築物耐震診断補強計画策定事業費助成 34,900千円 ○昭和56年5月末以前に建築された住宅及び建築物の耐震診断又は補強計画策定を行う所有者に対し、費用の一部を助成 ○木造住宅の補強計画 250件 他</p> <p>3 木造住宅耐震補強事業費助成 70,500千円 ○昭和56年5月末以前に建築された木造住宅を対象に、耐震診断又は補強計画に基づき耐震補強工事を実施する所有者に対し、費用の一部を助成 ○一般世帯 69件 ○高齢者・障害者世帯 72件</p> <p>4 建築物耐震補強事業費助成 18,510千円 ○昭和56年5月末以前に建築された特定建築物を対象に、補強計画に基づき耐震補強工事を実施する所有者に対し、費用の一部を助成 ○予定件数 2件</p>
------	---



補強前



補強中



補強後



5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

要緊急安全確認大規模建築物耐震対策事業

都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (国1/2)	市債	その他	
当初予算額	21,406	10,703			10,703
前年度予算額	39,400	19,700			19,700

目的	耐震改修促進法により、耐震診断が義務付けられている大規模建築物の所有者に対し、耐震診断、補強設計及び耐震補強工事費用の一部を支援することにより、民間建築物の耐震化を促進し、南海トラフ巨大地震等発生時における人的、物的被害の減少を図る。
----	---

事業概要	<p>平成25年に耐震改修促進法が改正され、新たに、昭和56年5月末以前に建築された特定建築物のうち、一定の規模・用途に該当する建築物（要緊急安全確認大規模建築物）について、耐震診断の実施及び診断結果の報告が所有者に義務付けられた。</p> <p>平成26年度から要緊急安全確認大規模建築物の所有者が行う耐震診断費用に対する補助を拡充し、27年度からは耐震診断後、耐震補強工事を実施するために補強設計を行う所有者に対しても、その費用の一部の補助を行った。平成28年度からはその中から耐震補強工事を行う所有者に対して、その費用の一部の補助を行っている。</p> <p>○予定件数 耐震補強設計 2件 耐震補強工事 1件</p>
------	--

対象建築物

【耐震診断の義務化・耐震診断結果の公表】

要緊急安全確認大規模建築物	<p>病院、店舗、旅館等の不特定多数の者が利用する建築物および学校、老人ホーム等の避難弱者が利用する建築物のうち大規模なもの</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>幼稚園・保育園</p>  <p>(階数2かつ1500㎡以上)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>小・中学校</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>老人ホーム</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>ホテル・旅館</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>美術館・図書館など</p>  </div> </div> <p>火薬類、石油類その他危険物を、一定量以上貯蔵または処理している大規模な貯蔵場等</p>
---------------	---

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

橋りょう整備事業（橋りょうの耐震化及び健全化事業）

建設局

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2.2/10、1/2、5.5/10)	市債	その他	
当初予算額	1,739,650	660,450	950,800		128,400
前年度予算額	1,877,600	659,290	946,500		271,810

目的	大規模災害に対し橋桁の落下や倒壊が起こらないよう、緊急輸送路や孤立集落対策路線を中心に耐震化を図るとともに、点検で確認された損傷を早期に補修することで、橋りょうの長寿命化を図る。
----	---



事業概要	1 橋りょう耐震化事業 679,480千円 ○橋脚をコンクリート等により巻立てて補強 ○地震時に橋桁が落下しないよう落橋防止装置を設置 ほか
	2 橋りょう健全化事業等 1,013,170千円 ○腐食鋼部材塗替えによる長寿命化 ○コンクリート部分の断面補修による長寿命化 ほか
	3 橋りょう点検 47,000千円 ○5年に一度の法定点検の実施 (主な整備予定箇所) ・(国) 362号(安西橋) ・(主) 井川湖御幸線(玉機橋) ・興津浦安橋通り1号線(浦安橋) ほか

1 橋りょう耐震化事業(橋脚巻立て)



2 橋りょう健全化事業(鋼桁塗替え)



5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

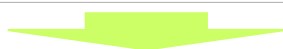
消防団員確保対策事業

消防局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	2,459				2,459
前年度予算額	2,459				2,459

目的	地域防災の中核を担う消防団員の入団促進を行うことにより、消防団員を確保し、地域防災力の充実強化を図る。
----	---



事業概要	<p>本市において、消防団員の確保は喫緊の課題であり、これまでの実施事業の更なる浸透及び発展と併せ、新たな入団促進対策について検討を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新制度導入の検討 <ul style="list-style-type: none"> ○機能別消防団員制度の導入に向けた検討 2 広報活動の強化 <ul style="list-style-type: none"> ○消防団のイメージアップのため、カラーガード隊の地域に密着したイベントへの出演 【出演予定】1月消防出初式 ほか年間13回を予定 ○消防団活動の情報発信のため、静岡市消防団公式Facebookの活用 【発信内容】消防団活動・消防防災の啓発に関する情報など 3 制度の周知 <ul style="list-style-type: none"> ○学生消防団活動認証制度の周知のため、学校及び商工会議所への説明会の実施 【説明会】4～5月…商工会議所 10～11月…大学・専門学校 ○消防団協力事業所表示制度の周知のため、商工会議所への説明会の実施 【説明会】4～5月…商工会議所
------	---

【カラーガード隊による広報活動】



【平成29年11月 大学学園祭】



【平成29年9月 救急フェア】

【学生団員による大学説明】



【平成29年10月 大学学園祭】

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

道路ネットワークの整備

建設局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2.2/10, 1/3, 1/2, 5.5/10)	市債	その他	
当初予算額	10,124,065	2,133,095	7,704,300	21	286,649
前年度予算額	11,366,132	2,517,536	8,665,900	209	182,487

目的	新東名高速道路、中部横断自動車道、(国)1号静岡バイパス、清水港などと連携した道路ネットワークを構築し、産業や観光を活性化するとともに、市内の渋滞解消や中山間地域(オクシズ)へのアクセス性を向上させる。
----	---

事業概要	1 ICアクセス道路整備 ・(主)井川湖御幸線(下～松富上組) ・(主)清水富士宮線(庵原～伊佐布) ・(主)山脇大谷線 ・高規格幹線道路とのアクセス強化	1,707,400千円
	2 (国)1号静岡バイパスの整備促進 (国直轄道路事業負担金) ・(国)1号静岡バイパス4車線化及び清水立体事業	1,301,740千円
	3 (国)150号(静岡バイパス、久能拡幅) ・渋滞対策及び清水港へのネットワーク強化	325,000千円
	4 上記以外の国県道・市道の整備	6,789,925千円

【道路ネットワークの構築】

① 新東名高速道路及び中部横断自動車道とのアクセス

- ◆(主)井川湖御幸線(下～松富上組)
新静岡IC～静岡市街地の現道拡幅(現状2車線 ⇒ 4車線)
- ◆(主)清水富士宮線(庵原～伊佐布)
清水いはらIC～(国)1号静岡バイパス間のバイパス整備

② (国)1号静岡バイパスの4車線化及び立体化

- ・牧ヶ谷IC～丸子IC ⇒ 平成30年度供用予定
- ・清水立体 ⇒ 未定



(国)150号(久能拡幅)



(主)清水富士宮線(庵原～伊佐布)

静岡市道路ネットワーク計画図



(国)1号静岡バイパス 4車線化
・牧ヶ谷IC～丸子IC ⇒ 平成30年度供用予定

(主)井川湖御幸線
4車線拡幅

(主)清水富士宮線
バイパス整備

(国)1号静岡バイパス
清水立体

(国)150号
(久能拡幅)

(主)山脇大谷線

(国)150号
(静岡バイパス)

凡例

- 主要事業箇所
- - - (国)1号静岡バイパス4車線化・立体化(直轄事業)
- 青文字: 国直轄事業

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

狭あい道路拡幅整備事業

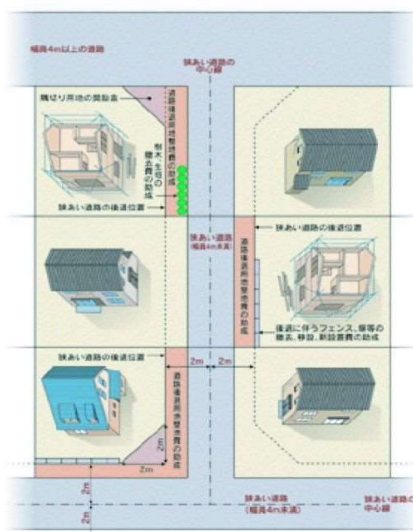
都市局

(千円)

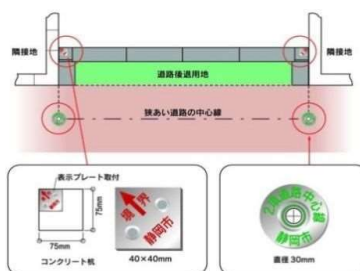
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	80,000	40,000			40,000
前年度予算額	79,152	39,510			39,642

目的	<p>狭あい道路の拡幅整備を推進することにより、ゆとりある生活環境の確保と市民が安心して暮らせる災害に強いまちづくりを目指す。</p> <p>道路に関する情報の適正な管理を図り、閲覧に供することにより、建築に係る業務の円滑化を図る。</p>
----	--

事業概要	<p>1 狭あい道路拡幅整備事業 69,476千円</p> <p>○補助対象となる道路に面する敷地において、要綱に定める拡幅事業を実施し、その道路拡幅用地を市に寄附する者に対し、助成金及び奨励金を交付する。</p> <p>○予定件数（平成30年度）</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>境界確定のための測量等委託</td> <td style="text-align: right;">41件</td> </tr> <tr> <td>ブロック塀等の撤去費用等助成</td> <td style="text-align: right;">48件</td> </tr> <tr> <td>後退用地の舗装修繕</td> <td style="text-align: right;">50件</td> </tr> </table> <p>2 指定道路台帳整備事業 10,524千円</p> <p>建築基準法に規定する各種道路の指定又は判定等の業務により作成された道路情報を適正に管理し、窓口業務での閲覧等に活用するほか、インターネットによる道路情報の公開と指定道路図情報システムのデータの更新及び精査作業を行う。</p>	境界確定のための測量等委託	41件	ブロック塀等の撤去費用等助成	48件	後退用地の舗装修繕	50件
境界確定のための測量等委託	41件						
ブロック塀等の撤去費用等助成	48件						
後退用地の舗装修繕	50件						



狭あい道路拡幅整備事業略図



寄附地の修繕概要



狭あい道路拡幅整備事業
実施前



インターネット公開



狭あい道路拡幅整備事業
実施後

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

道路自然災害防除事業（道路トンネル対策及び法面対策事業）^{のりめん} 建設局 (千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2.2/10、1/2、5.5/10)	市債	その他	
当初予算額	864,490	317,620	285,600	41,300	219,970
前年度予算額	797,000	318,050	230,200	37,500	211,250

目的	緊急輸送路等の老朽化したトンネルの対策や、自然災害に備えた法面对策等を実施し、安全で安心な道路環境を確保する。
----	---

事業概要	<p>1 道路トンネル対策事業 339,000千円 ○劣化診断の結果、早急に対策が必要と判定されたトンネル設備の更新工事を実施。 ・(国) 150号(新日本坂トンネル) ほか</p> <p>2 道路法面对策事業 525,490千円 ○道路防災点検等によって緊急・早期に対策が必要と診断された法面の対策設計・工事を進める。 ・(県) 静岡焼津線(駿河区石部) ・寺田線(清水区蒲原神沢) ほか</p>
------	---

1 道路トンネル対策事業



2 道路法面对策事業



(県) 静岡焼津線(駿河区石部)
海岸沿いの浸食・風化した法面の崩壊を防止するため、法面崩壊対策を実施する。



寺田線(清水区蒲原神沢)
過去の降雨により崩壊した法面の拡大を防止するため、法面崩壊対策を実施する。

5 防災都市 ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立

【拡充】

感震ブレーカー設置費助成

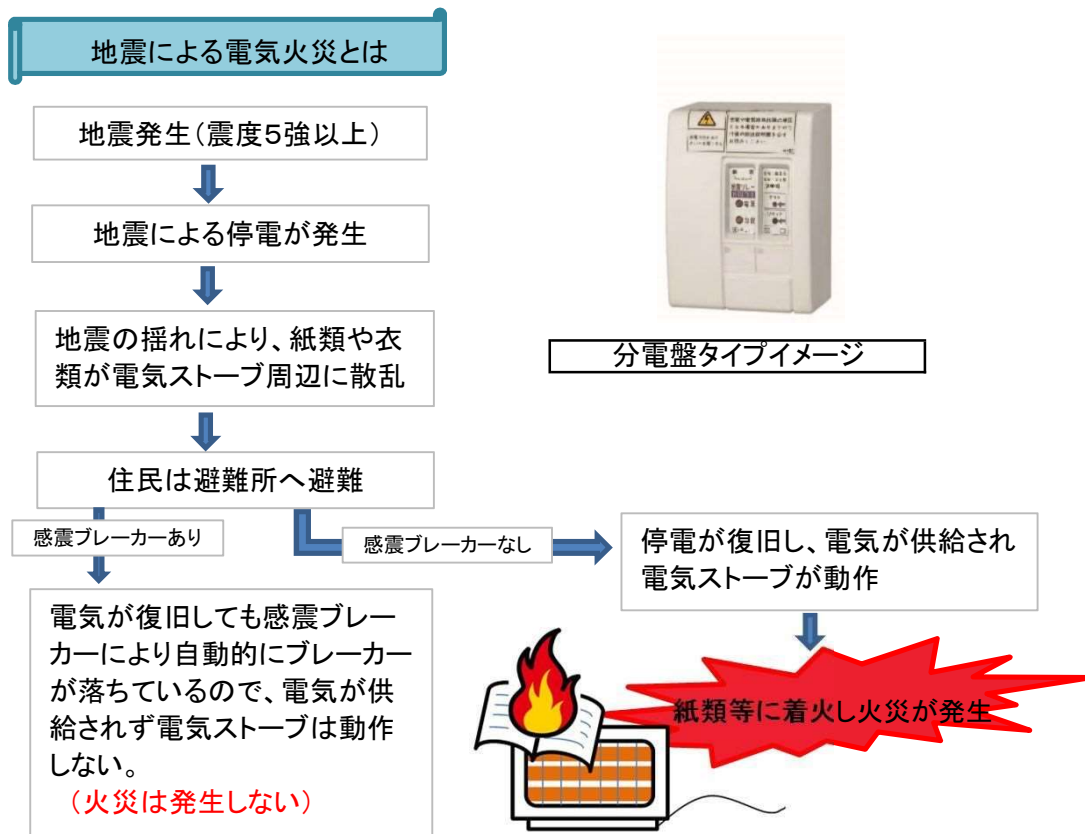
総務局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	30,000	10,000			20,000
前年度予算額	30,000	10,000			20,000

目的	大規模地震発生時における電気火災を原因とした火災の発生を防止し、「安心・安全に暮らせるまちづくり」を推進するため「感震ブレーカー」の設置促進を図る。
----	--

事業概要	<p>震度5強以上の揺れを感知し自動的にブレーカーを落として電力供給を遮断する「感震ブレーカー」の設置を行う世帯に対して助成を行う。</p> <p>○対象世帯 静岡市内において、住宅を所有または居住している世帯 (木造住宅のみ対象→非木造住宅にも対象を拡大) 拡充</p> <p>○補助対象事業、補助率等 補助対象機器 感震ブレーカー(分電盤タイプ) 補助金額 設置費用の3分の2(上限2万5千円) 新築の場合は一律1万円</p>
------	--



3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

5 防災都市	様々な危機に備えた減災力が高い安心・安全なまちづくりの推進
5-②	浸水・土砂災害対策の拡充

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成30年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
浸水災害対策									
1	建設局 上下水道局	河川課 下水道計画課 下水道建設課	継続	浸水対策推進プラン	ハード ソフト	4,016,911		167	108 152
2	総務局	危機管理課 (危機管理総室)	新規	巴川洪水ハザードマップ作成事業	ソフト	7,515		-	45
土砂災害対策									
3	建設局	建設政策課	継続	急傾斜地崩壊対策事業費負担金	ハード	65,000		-	107
4	建設局	建設政策課	継続	急傾斜地崩壊対策事業	ハード	18,000		168	107
その他									
5	都市局	公園整備課	継続	土砂災害等防止対策事業(公園)	ハード	127,000		169	103
計						4,234,426			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成29年度当初予算額 4,455,052

5 防災都市 ②浸水・土砂災害対策の拡充等

浸水対策推進プラン

建設局・上下水道局

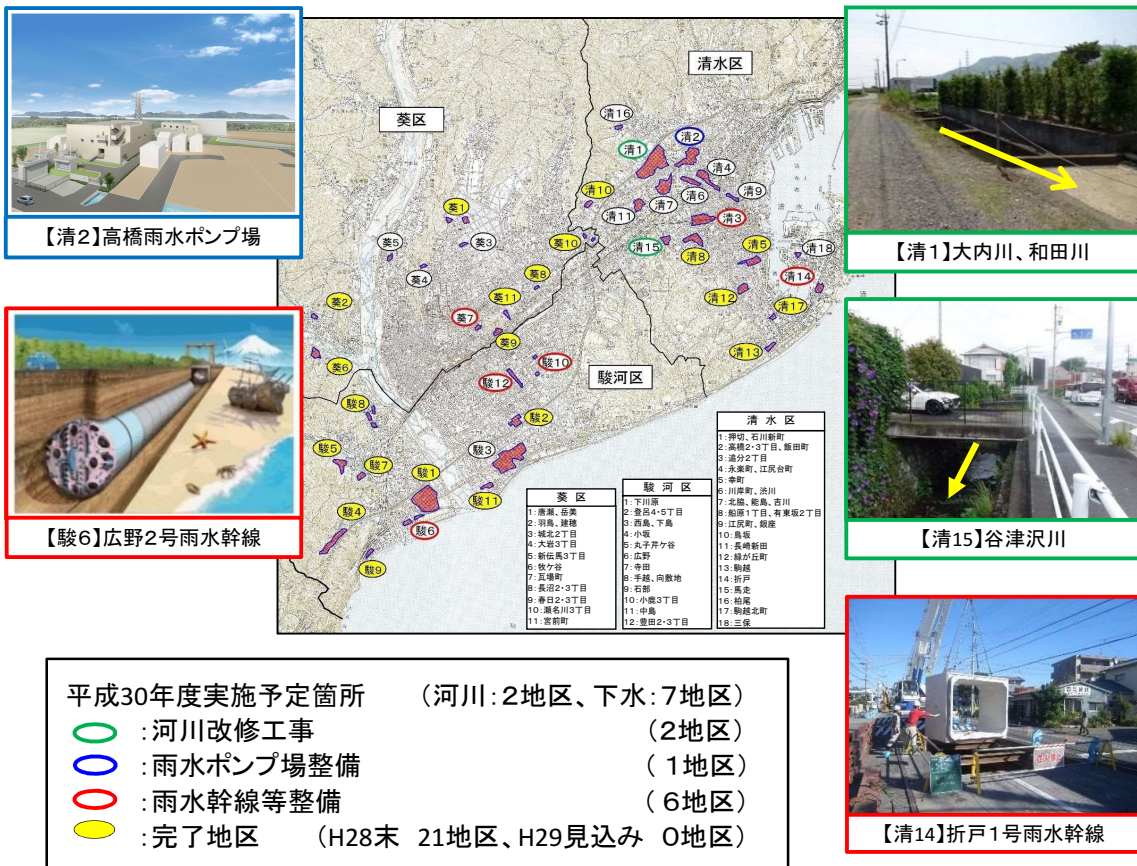
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源、 損益勘定留保 資金
		国・県支出金 (1/2、5.5/10)	市債、企業債	その他	
当初予算額	4,016,911	1,021,250	2,885,900		109,761
前年度予算額	4,197,652	1,366,250	2,731,750		99,652

目的	ゲリラ豪雨や台風に強いまちを実現し、市民の大切な生命と財産を守る。
----	-----------------------------------

事業概要	1 河川事業 136,000千円 ○河川改修事業の実施 ・谷津沢川改修 (清15 馬走地区) ・大内川、和田川改修 (清1 押切、石川新町地区)
	2 下水道事業 3,880,911千円 ○雨水ポンプ場、雨水幹線などの整備 ・高橋雨水ポンプ場建設 (清2 高橋2・3丁目、飯田町地区) ・広野2号雨水幹線築造工事 (駿6 広野地区) ・折戸1号雨水幹線築造工事 (清14 折戸地区) ほか

【浸水対策推進プラン 事業実施予定箇所図】



5 防災都市 ②浸水・土砂災害対策の拡充等

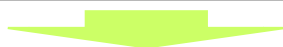
急傾斜地崩壊対策事業

建設局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	18,000				18,000
前年度予算額	18,000				18,000

目的	急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命を守るため、急傾斜地崩壊対策事業を実施し、災害の未然防止を図る。
----	---



事業概要	<p>「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」に基づき実施する事業</p> <p>1 県の対策工事を促進するための測量 8,000千円 ○県が急傾斜地崩壊危険区域を指定するために必要な測量業務 ・葵区南沼上楠ヶ谷No. 2 ・清水区杉山札ノ平</p> <p>2 既成宅地防災施設設置費助成制度 10,000千円 ○保全人家4戸以下の危険箇所に住する住民が行う土砂災害防止施設の設置費用を助成 ・補助率 工事費の1/2以内 ・補助額 最大5,000千円</p>
------	--

既成宅地防災施設設置費助成制度の実施例(H27施工箇所:葵区有永)



着手前



完成後

5 防災都市 ②浸水・土砂災害対策の拡充

土砂災害等防止対策事業（公園）

都市局

（千円）

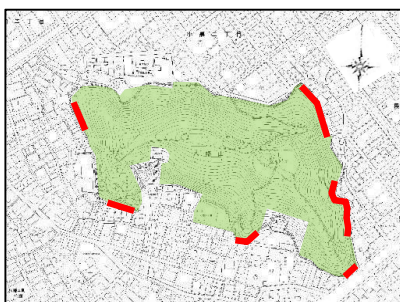
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	127,000		127,000		
前年度予算額	184,400		184,400		

目的	公園内の斜面の崩壊による周辺家屋への土砂災害を防止するため、土砂崩壊対策施設を整備。
----	--

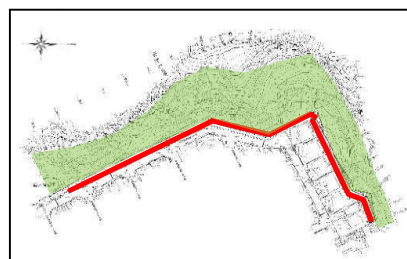


事業概要	土砂災害による被害を防止し、都市の安全性を向上	
	<p>整備内容 土砂災害対策施設整備</p> <p>1 八幡山公園 60,000千円 ○整備延長約300m ○駿河区八幡山地内 ○事業期間 平成24年度～31年度</p> <p>2 西ノ谷公園 67,000千円 ○整備延長約310m ○清水区草薙地内 ○事業期間 平成26年度～31年度</p>	

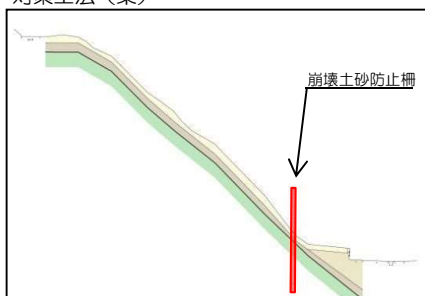
八幡山公園 対策予定箇所平面図



西ノ谷公園 対策予定箇所平面図



対策工法（案）



対策工事イメージ



3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

5 防災都市	様々な危機に備えた減災力が高い安心・安全なまちづくりの推進
5-③	再生可能エネルギーの導入・普及促進

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成30年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
再生可能エネルギーの導入・普及促進									
1	環境局	環境創造課	継続	地球温暖化対策普及啓発事業	ソフト	11,200		171	64
2	環境局	環境創造課	継続	中小企業者向け省エネルギー対策支援事業	ソフト	3,000		-	64
静岡型水素タウン構想に向けた取り組み									
3	環境局	環境創造課	拡充	★静岡型水素タウン促進事業	ソフト	8,188		172	64
4	環境局	環境創造課	新規	静岡型水素タウン促進事業費助成	ソフト	12,000		173	64
計						34,388			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成29年度当初予算額

25,366

5 防災都市 ③再生可能エネルギーの導入普及促進

地球温暖化対策普及啓発事業

環境局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	11,200			10,000	1,200
前年度予算額	11,500			10,000	1,500

目的	地球温暖化防止のための取組を多くの人々が家庭、学校、会社など様々な場面で行うことができるよう、普及啓発活動を実施する。
----	---

事業概要	<p>CO₂排出量の削減に向け、より多くの市民に、温暖化防止や省エネへの取組の意識醸成を図るための普及啓発を実施</p> <p>1 国民運動「COOL CHOICE」の普及啓発 10,000千円 ○事業者との協働による「COOL CHOICE」のPR 【実施予定】 7月～12月：青葉シンボルロード、IAIスタジアム日本平 等 広く市民等を対象にPRを実施</p> <p>2 静岡市次世代エネルギーパーク関連施設等を活用した普及啓発 1,200千円 ○日本平動物園での環境学習イベント ○事業者と連携した省エネキャンペーンイベント</p>
------	--

平成29年度 事業例

【清水エスパルスと連携したCOOL CHOICEの普及啓発】



清水エスパルスホームゲームにおける
COOL CHOICE宣言
(6月：IAIスタジアム日本平)



市内小学生を対象とした
エコ発明グランプリ表彰式
(10月：IAIスタジアム日本平)

【市内各所における温暖化対策啓発】



次世代エネルギーパークツアー
(7月：再生可能エネルギー施設等)



ホームゲームにおけるブース出展
(期間中3回：IAIスタジアム日本平)



ライトダウンイベントにおけるPR
(12月：青葉シンボルロード)



子ども向けワークショップ
(10月：市内ショッピングセンター)

5 防災都市 ③再生可能エネルギーの導入普及促進

【拡充】

静岡型水素タウン促進事業

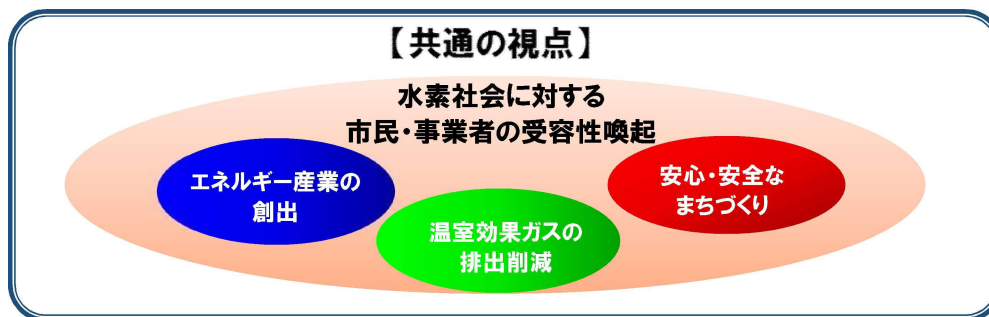
環境局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	8,188				8,188
前年度予算額	10,063			2,020	8,043

目的	<p>本市の地域特性を踏まえた水素エネルギーの先駆的な利活用を図り、水素エネルギーの需要拡大に向けた取組を促進する。 また、他都市にも水平展開可能な、人口減少対策にも資する魅力的なまちづくり「静岡型水素タウン」を推進する。</p>
----	---

事業概要	<p>1 静岡市水素エネルギー利活用促進協議会の運営 618千円 水素エネルギーに関する知見を有する学識経験者、企業等で構成される同協議会を運営するための経費</p> <p>2 「静岡型水素タウン」普及啓発活動経費 7,570千円 ○水素・燃料電池展の開催（11月：青葉シンボルロード） ○静岡科学館る・く・るによる企画展、科学教室の開催 新規 ・企画展（夏休み期間中：静岡科学館る・く・る） ・科学教室（市内小中学校への出前教室） ○燃料電池自動車と外部給電器を活用した普及啓発・ 新規 防災利用（地域における防災訓練時等）</p>
------	---



燃料電池自動車を活用した普及啓発



水素・燃料電池展（青葉シンボルロード）

水素エネルギーに関する情報発信



静岡科学館る・く・るによる企画展（イメージ）

**水素需要の拡大を図り
「静岡型水素タウン」を推進**

5 防災都市 ③再生可能エネルギーの導入普及促進

【新規】

静岡型水素タウン促進事業費助成

環境局

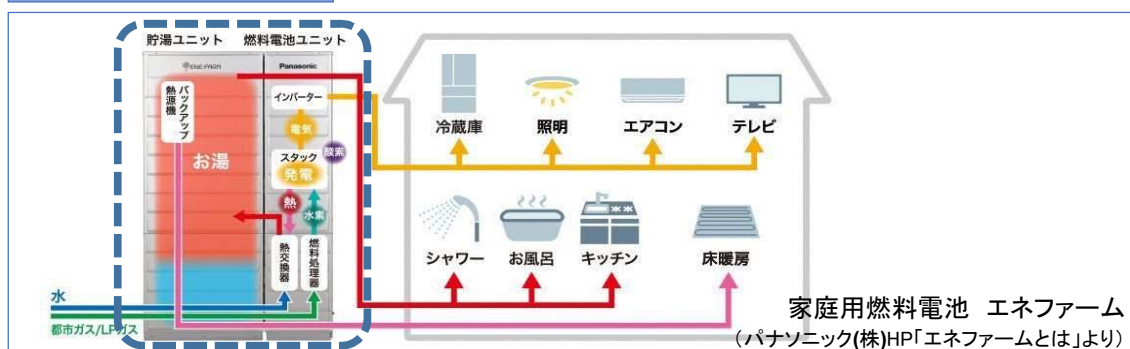
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	12,000				12,000
前年度予算額					

目的	水素エネルギーを活用する機器の普及拡大により、市民・事業者の水素エネルギーに対する意識醸成を図るとともに、温室効果ガスの削減を図りながら、「静岡型水素タウン」を推進する。
----	---

事業概要	<p>○事業内容 家庭用燃料電池、業務用燃料電池及び燃料電池自動車を購入した個人や事業者に対して、導入に係る費用の一部を助成</p> <p>○補助対象・補助額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭用燃料電池 … 補助額：3万円 ・業務用燃料電池 … 補助額：国補助額の1/2又は50万円 ※いずれか少ない額 ・燃料電池自動車 … 補助額：10万円 <p>※国の補助制度との併用可</p>
------	--

補助対象機器例



燃料電池自動車 MIRAI
(写真提供:トヨタ自動車(株))



燃料電池自動車 クラリティ
(写真提供:本田技研工業(株))



共生都市

<プロジェクトの目標>

あらゆる人々が**多様な個性**
を尊重し
互いに支え合い
自然を愛し、共に暮らす
まちづくりの推進



<成果目標>

「障がい者や高齢者にやさしいまち」だと
思っている市民の割合(市民意識調査)

そう思う 42%(H27) → **70%(H34)**

「静岡市のために、何か役に立ちたい」と
思っている市民の割合(市民意識調査)

そう思う 70%(H27) → **80%(H34)**

①多様な人々による共生

市民局、企画局、観光交流文化局、保健福祉長寿局
子ども未来局、経済局、都市局、建設局、教育局

実現すべき将来像

○家康公の駿府大御所時代より継承されている異なる価値観を受け入れることができる潜在的な市民性と風土を活かしながら、多様性を社会の豊かさとして捉え、地域の活力につなげることで、お互いの違いを認め合い、だれもが安心して暮らせる共生都市の実現

課題と対応策

「多様な人々による共生」では、グローバル化が進んだ社会においては、地元への愛情を持ちながら国際的に活躍できる人材が求められている。そこで、地域のことを英語で語れる地域人材を活用するなど、子どもたちの英語力向上に取り組む。また、共に助けあい、交流する社会の実現に向け、「福祉・子育ての拠点」となる施設を整備する。

平成30年度の取組

○英語を活用したコミュニケーション向上プロジェクトでは、地域のことを英語で語れる地域人材の活用や静岡版教材の開発等により、静岡のことを英語で発信でき、将来的には国際的に活躍できる子どもたちの育成に取り組む。

○「しずおか女子きらっ☆プロジェクト」では、官民が連携した会議や異業種交流会を開催するとともに、「女性が活躍できるまち静岡市」を市内外に広く情報発信していく。

○「バリアフリーの推進」では、地域住民が主体となり地域で交通弱者の日常生活を支える移動手段を確保するため、地域交通弱者対策事業費助成を実施する。

○「生涯活躍のまち静岡(CCRC)」駿河共生地区の富士見エリアにおいては、「福祉・子育ての拠点」機能を高めるため、民間の活力を導入して児童発達支援センターを整備する。

多文化共生・国際交流の推進



英語を活用したコミュニケーション向上プロジェクト(教育局)【253,381千円】

男女共同参画の推進



「しずおか女子きらっ☆」プロジェクト(市民局ほか)【16,743千円】

バリアフリーの推進



地域交通弱者対策事業費助成(都市局)【3,800千円】

②南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

環境局、企画局、市民局、観光交流文化局
経済局、都市局、建設局、教育局

実現すべき将来像

- 豊かな自然環境・生態系を維持
- モニタリングを継続的に実施するとともに、自然を守る人材、地域の核となる人材を育成
- 地域団体、企業、行政の連携を図り、地域資源を磨き上げ、地域振興の取組を推進

課題と対応策

「南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生」では、南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画に基づき事業を実施しており、南アルプス周辺登山道整備事業をはじめ関連事業は順調に推移している。

しかし、登録地域内において、中央新幹線建設事業を含む様々な要因が、自然環境へ影響を及ぼす可能性がある。そこで、平成30年度も引き続き環境調査を継続するとともに、同計画に基づき、総合的な取組を推進する。

平成30年度の取組

- 南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画の実行計画に基づき、引き続き事業を実施するとともに、平成31年度以降の実行計画を策定する。
- 南アルプス周辺登山道整備事業では、登山者の安全を確保し、山岳事故の減少を図るため、引き続き事業を実施する。
- あさはた緑地（麻機遊水池第1工区）整備事業では、引き続き、公園施設整備工事を実施するとともに、植生調査を行う。
- トレイルランニングの初級コースに続き、中級コースを増設するなど、南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家のさらなる利用促進に取り組む。

南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画の推進



南アルプスユネスコエコパーク
管理運営計画推進事業
（環境局）【25,559千円】



南アルプス登山道
整備事業
（経済局）【10,000千円】

南アルプスユネスコエコパーク
井川自然の家活用事業
（教育局）【23,872千円】

里地・里山の機能保全



あさはた緑地
（麻機遊水池第1工区）整備事業
（都市局）【150,000千円】

③まちづくりは人づくり・シチズンシップ

市民局、企画局、各区役所、観光交流文化局、環境局
保健福祉長寿局、子ども未来局、経済局、都市局、建設局、教育局

実現すべき将来像

- 市民と行政との協働によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材の養成

課題と対応策

「まちづくりは人づくり・シチズンシップ」では、「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業において、育成した人材の活動への橋渡しやネットワークづくり等、人を活かす仕組みが課題である。

そこで、平成30年度から運用を開始する「市民活動支援システム」と連携し、活動情報を発信し、更なる仕組みづくりに取り組む。

平成30年度の取組

- 「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業では、WEB広告を拡充するなど、より一層、「こ・こ・に」の認知度を高め、意欲ある受講生の確保に取り組む。
- 平成30年度から運用開始する「市民活動支援システム」により、市民活動等の情報を広く市民に提供し、活動への理解・参加に繋げる。
- 地域の次世代を担う人材を地域の中で育てため、本市の高等教育に関するあり方について検討を進める。

人をつくる仕組の推進



「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」
推進事業（市民局ほか）【26,485千円】



高等教育のあり方検討推進事業
（企画局）【3,093千円】

人を活かす仕組の推進



「市民活動支援システム」運用事業
（市民局）【3,280千円】

人を支える基盤づくり



生涯学習交流館・児童館建設事業
（市民局・子ども未来局）【373,930千円】

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

6 共生都市	あらゆる人々が多様性を尊重し共に暮らすまちづくりの推進
6-①	多様な人々による共生

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成30年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
多文化共生・国際交流の推進									
1	観光交流文化局	観光・国際交流課 (MICE・国際課)	継続	海外姉妹都市等交流事業	ソフト	7,321		-	57
2	観光交流文化局	スポーツ交流課	継続	★オリンピック・パラリンピック合宿等誘致事業	ソフト	32,169		-	63
3	市民局	男女参画・多文化 共生課	継続	異文化コミュニケーション体験フェア等 (多文化共生啓発事業)	ソフト	1,600		-	50
4	教育局	学校教育課 教育センター	拡充	★英語を活用したコミュニケーション向上 プロジェクト(グローバル人材の育成)	ソフト	253,381		177	117 118 119 120
男女共同参画の推進									
5	市民局 ほか関係局	男女参画・多文化 共生課 ほか関係課	拡充	しずおか女子きらっ☆プロジェクト ・女性の活躍促進事業(メンターカフェの開催等) ・女子学生と女性社員によるUIJターン促進交流会 ・「女性活躍異業種交流会」の開催 ほか	ソフト	16,743		178	50 90 107
バリアフリーの推進									
6	保健福祉長寿局	精神保健福祉課	継続	★精神障害者地域移行支援事業	ソフト	14,440		-	77
7	都市局	交通政策課	継続	地域交通弱者対策事業費助成	ソフト	3,800		179	99
駿河「共生」地区の整備									
8	保健福祉長寿局	福祉総務課	拡充	★生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業	ソフト	19,800	④健康長寿のまち	126	67
計						349,254			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成29年度当初予算額 260,999

6 共生都市 ①多様な人々による共生

【拡充】

英語を活用したコミュニケーション向上プロジェクト (グローバル人材の育成) 教育局

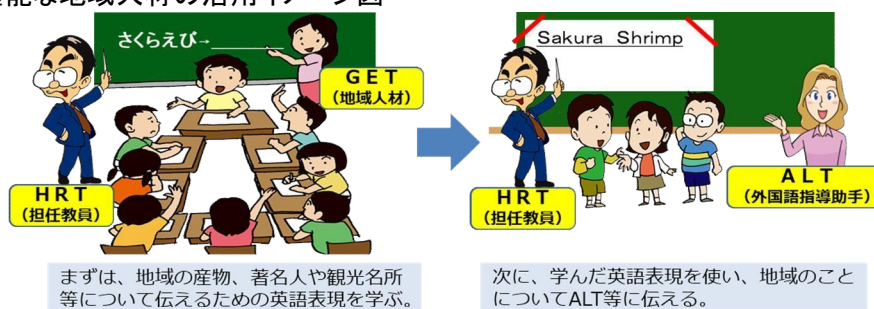
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	253,381	22,122		17,602	213,657
前年度予算額	206,973	23,701		12,962	170,310

目的	小中学校の9年間を通じた静岡型小中一貫教育の中で、異なる文化の人々と自信を持ってコミュニケーションをとることができ、地元への愛情を持ちながら国際的に活躍できる子どもを育てる。
----	---

事業概要	静岡型小中一貫英語教育基本指針・カリキュラムに沿った取組を推進
	1 <u>英語検定を受けてみよう!</u> 新規 2,000千円 市立中学校の3年生の希望者を対象に、英語検定3級以上の検定料のうち1,000円を補助
	2 <u>英語が堪能な地域人材「GET」の活用</u> 新規 13,830千円 英語が堪能な地域人材をGlocal English Teacher=GETとして各小学校へ配置し、担任・ALTと共に英語の授業を実施 【資格要件】静岡市在住で、海外生活経験のある方、英検準1級相当以上の英語力を有する方など
	3 <u>静岡市独自教材の開発・活用</u> 新規 2,899千円 しずおか学と連携した独自教材を作成し、静岡市ならではの題材を用いた英語表現を身に付ける授業を実施
	4 <u>授業以外でも英語に接する機会を増やします!</u> 拡充 1,132千円 あいさつなど英語の授業以外でも英語を使う日=「イングリッシュ・デイ」を全ての小・中学校で月1回以上設定
5 <u>教員の英語力の向上</u> 拡充 1,539千円 海外派遣研修、県外先進校での研修など、教員の英語力を高めるため、教員研修を充実	
	★グローバル人材：グローバル (Global) とはローカル (local) からの造語で、グローバル人材とは『世界的な規模で考えて、身近なところから行動できる (Think globally, act locally) 』人材

英語が堪能な地域人材の活用イメージ図



6 共生都市 ①多様な人々による共生

【拡充】

しずおか女子きらっ☆プロジェクト

市民局ほか

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	16,743	4,576			12,167
前年度予算額	18,786	5,564			13,222

目的	女性の“活躍したい”希望がかなうまちを実現し、地域経済・社会の持続的成長を図るため、「女性活躍」に関する企業の取り組みを促進するとともに、活躍したい女性への支援を行う。
----	--



事業概要	1 企業の取り組みをバックアップ、やる気を応援 4,705千円 ○官民連携会議の開催 ○女性活躍ブランド認定の実施 ○企業セミナーの開催 ほか
	2 女性の「活躍したい！」を応援 12,038千円 ○民間企業と連携して女性活躍異業種交流会を開催 新規 ⇒ 働く女性及び人事管理部門のネットワーク構築を支援 ○メンターカフェを5市2町地域に拡大して開催 拡充 ⇒ 企業の垣根を越えて働く女性のロールモデル共有を支援 ○女子学生と女性社員によるUIJターン促進交流会 ⇒ 静岡で就職したい首都圏の女子学生への支援 等 ◆本プロジェクトは、関係6局（総務局、企画局、市民局、子ども未来局、経済局、建設局）が連携して取り組みます。

先輩女性に
直接会って
アドバイスが



女性が企画・開発
したステキな商品
を認定！

しずおか女子きらっ☆プロジェクト



女子きらっ☆メンターカフェ



しずおか女子きらっ☆
ブランド認定

6 共生都市 ①多様な人々による共生

地域交通弱者対策事業費助成

都市局

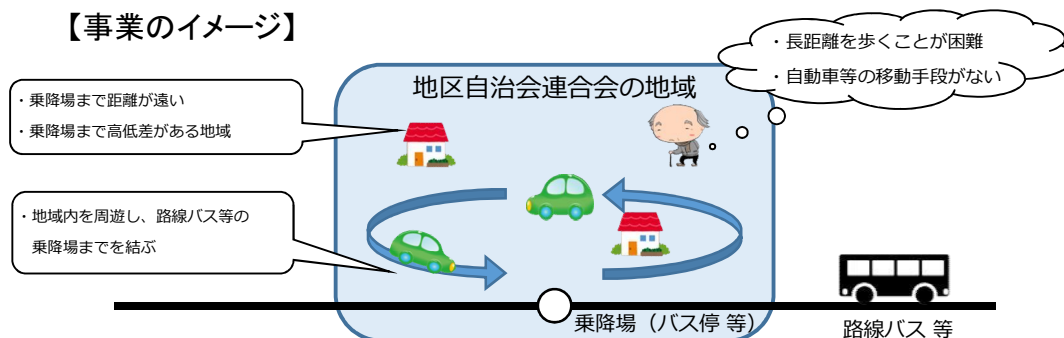
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	3,800				3,800
前年度予算額	6,600				6,600

目的	地域住民が主体となり、地域で交通弱者の日常生活を支える移動手段を確保することにより、地域に相応しい持続可能な地域交通の実現及び地域の活性化を図る。
----	---

事業概要	<p>1 事業内容 長距離を歩くことが困難、又は自動車等の移動手段を持たない、持てない、運転できないといった交通弱者の日常生活を支える移動手段を確保するため、住民が主体となった地域組織の取り組みを支援（3年間で試行期間とするモデル事業。）</p> <p>2 助成の条件 ○公共交通の利用が困難（距離、高低差）な地域であること。 ○運行の範囲が地区自治会連合会等の地域内であること。 ○駐車場や運転者の確保等の地域負担ができること。 ○路線バス等の公共交通の乗降場と結節すること。等</p> <p>3 補助対象者 ○助成の条件を満たす地区自治会連合会等</p> <p>4 平成30年度の補助対象経費、補助率 ○車両リース代 対象経費の10分の10～8（上限1,000千円） ○運送経費（ガソリン代等） 対象経費の10分の10～5（上限1,000千円）</p> <p>5 平成30年度の助成内容 ○3地区（駒越地区、長田西地区、新規地区1地区想定）</p> <p>（期待される効果） ○日常生活における移動の円滑化による交通弱者の外出機会の創出 ○地域コミュニティの形成、振興や活力、魅力の向上 ○基幹公共交通利用者の増加</p>
------	---

【事業のイメージ】



3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

6 共生都市	あらゆる人々が多様性を尊重し共に暮らすまちづくりの推進
6-②	南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成30年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画の推進									
1	経済局	中山間地振興課	継続	★南アルプス登山道整備事業	ハード	10,000		181	97
2	環境局	環境創造課	拡充	南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画 推進事業	ソフト	25,559		182	64
3	教育局	教育総務課	拡充	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家 活用事業	ソフト	23,872		183	114
4	経済局	治山林道課	継続	井川地区林道管理及び東俣線ゲート管理	ハード	157,736		-	93
5	都市局	交通政策課	継続	井川地区自主運行バス運行事業	ソフト	34,300		-	99
6	市民局	井川支所	継続	井川湖渡船運営事業	ソフト	20,456		-	53
7	経済局	中山間地振興課	拡充	★地域おこし協力隊配置事業	ソフト	40,344		80	97
8	経済局	中山間地振興課	拡充	★中山間地移住促進事業	ソフト	13,000		93	96
9	経済局	中山間地振興課	継続	★オクシズ在来作物活用事業	ソフト	5,000		-	95
都市の里地・里山機能の保全									
10	経済局	中山間地振興課	継続	野生鳥獣被害対策事業	ソフト	132,792		-	97
11	都市局	緑地政策課 公園整備課	拡充	麻機遊水地関連事業	ハード ソフト	195,000		184	101
12	環境局	環境創造課	継続	放任竹林対策事業	ソフト	11,201		185	64
計						669,260			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成29年度当初予算額 571,196

6 共生都市 ②南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

南アルプス登山道整備事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	10,000				10,000
前年度予算額	110,000		67,500		42,500

目的	ユネスコエコパークの登録により、南アルプスの登山者は毎年増加しており、登山道の安全を確保や、利便性の向上を図る。
----	--

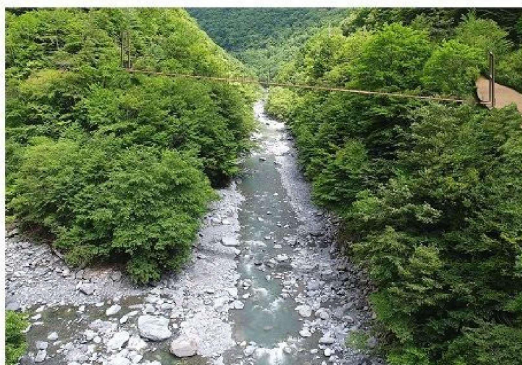
事業概要	<p>登山道崩落個所の修繕や仮設迂回路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○畑薙大吊橋・茶臼ルート ○千枚岳登山道吊橋（平成29年度事業）周辺 ほか
------	---



登山道崩壊箇所



登山道崩壊箇所



千枚岳登山道吊橋(完成予想図)



6 共生都市 ②南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

【拡充】

南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業

環境局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	25,559				25,559
前年度予算額	25,702				25,702

目的	ユネスコエコパークの理念「自然と人間社会の共生」に基づき、南アルプスの豊かな自然環境を守り、活用し、その魅力や価値を世界に発信することで、地域の持続的な発展を目指す。
----	---

事業概要	南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画（静岡市域版）及び同実行計画に基づく事業を推進	
	1 自然環境の保全	5,650千円
	○高山植物保護（防鹿柵の設置等） ○ライチョウ保護（調査、ライチョウサポーターの養成等） ライチョウサポーターフォローアップ研修会市内開催	拡充
	2 調査と教育	11,720千円
	○高山植物保護セミナー ○南アルプス環境調査（動植物調査）	
3 地域経済の持続的な発展	5,057千円	
○情報発信、普及啓発 南アルプス写真展の開催	新規	
【開催予定】 10～11月：日本平動物園、市民ギャラリー 等 写真展を通じて南アルプスの自然環境等の魅力を発信		
4 進捗管理等に要する経費	3,132千円	



防鹿柵による高山植物保護
(夏期：中岳避難小屋周辺ほか)



ライチョウ生息域内状況把握調査
(夏期：南アルプス南部)



ライチョウサポーター養成講座
(5月：静岡市内、首都圏)



高山植物保護セミナー
(8月：千枚小屋周辺ほか)



南アルプス動植物環境調査
(夏期：現地調査、
通年：ヒアリング調査等)



山岳関連イベント出展PR
(5月：東京都、6月：名古屋市)

6 共生都市 ② 南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

【拡充】

南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家活用事業

教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	23,872		17,200		6,672
前年度予算額	2,000				2,000

目的	井川の魅力を活かした事業の実施により、南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家の利用者数を増やすとともに、地域の振興を促進して、井川地域の活性化を図る。
----	--



事業概要	<p>1 井川のファンづくり 拡充 4,672千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○トレイルランニング中級者向けコースの新設・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の初級コースに続き、日本のトレイルランニングの第一人者 望月将悟氏監修による中級者向けコースを新設 ・望月将悟氏からトレイルランニングの楽しさを学ぶ日帰りイベントを開催 ○南アルプスユネスコエコパーク秋冬満喫ツアーの開催 地域資源を最大限に活用して、井川の秋と冬の自然を楽しむツアーを実施 <p>2 利用者ニーズに沿った自然の家大規模改修 新規 19,200千円 個人での利用希望に応えるため、南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家の新館宿泊棟などを改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 設計 ・平成31年度 工事
------	--



平成29年度 初級トレイルランニングコース完成！



井川deスキー&雪遊び inリバウエル井川

6 共生都市 ②南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

【拡充】

麻機遊水地関連事業

都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	195,000	94,000	90,100	1,500	9,400
前年度予算額	114,450	50,000	45,900		18,550

目的	麻機遊水地の治水機能を確保しつつ、地域の自然環境や立地特性を活かした自立発展型の地域活性化を目指すため、自然再生型緑地の整備等を行い、自然を通じた体験・交流・憩いの場の創出を図る。
----	--

事業概要	1 あさはた緑地整備事業（麻機遊水地第1工区） 150,000千円 ○事業内容 ・冠水頻度の低い区域約6haの公園的整備 （小川や自然体験広場、農業体験広場、拠点となるセンターハウス等の整備） 平成30年度事業内容…農機具小屋、炊事場、トイレ、園路などの公園施設の整備、植生調査
	2 浅畑緑地整備事業（麻機遊水地第3工区） 38,000千円 ○事業内容 ・冠水頻度の低い区域約15haの公園的整備 平成30年度事業内容…トイレ設置
	3 麻機遊水地保全活用推進協議会負担金 7,000千円 ○事業内容 ・麻機遊水地の自然再生と利活用を両輪とした取組を進めるために協議会を運営する



自然観察







ミヤマアカネ



オニバス

遊水地の貴重な動植物

6 共生都市 ②南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

放任竹林対策事業

環境局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	11,201				11,201
前年度予算額	13,672				13,672

目的	放任竹林の増加により里山の荒廃が進み、景観の悪化、生物多様性の低下などの原因となっているため、放任竹林対策を推進し、里山環境の保全を図る。
----	---

事業概要	<p>市民団体による里山保全活動を支援するとともに、竹林伐採の業務委託及び伐採地の維持管理により、放任竹林対策を推進</p> <p>1 里山保全団体の支援・育成 4,600千円 ○補助金の交付 ○消耗品等の支給</p> <p>2 里山整備竹林対策事業ほか 6,601千円 ○竹林伐採業務委託 ○竹破碎機の貸出</p>
------	--



竹林伐採委託



竹破碎機の活用



里山保全団体の活動



竹破碎機講習会

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

6 共生都市	あらゆる人々が多様性を尊重し共に暮らすまちづくりの推進
6-③	まちづくりは人づくり・シチズンシップ

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成30年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
人をつくる仕組みの推進									
1	企画局	企画課	継続	高等教育のあり方検討推進事業	ソフト	3,093	③教育文化	187	47
2	市民局 ほか関係局	生涯学習推進課 ほか関係課	拡充	「静岡シチズンカレッジ コ・コ・に」推進事業	ソフト	26,485	③教育文化	188	50 74
人を活かす仕組みの推進									
3	市民局	市民自治推進課	継続	「市民活動支援システム」運用等事業	ソフト	3,280		189	50
4	企画局	企画課	継続	大学連携による地域課題解決事業	ソフト	7,000		99	47
5	市民局	市民自治推進課	継続	市民活動促進事業「協働パイロット事業」	ソフト	3,097		-	50
人を支える基盤づくり									
6	都市局	清水駅周辺整備課	継続	★JR草薙駅周辺整備事業 (南北駅前広場整備)	ハード	299,879	③教育文化	57	100
7	都市局	都市計画課	継続	★JR草薙駅北口国道1号横断施設検討事業	ソフト	10,000	③教育文化	58	98
8	都市局	都市計画課	継続	★JR草薙駅北口周辺土地利用計画 (用途地域等)見直し事業	ソフト	3,000	③教育文化	58	98
9	都市局	清水駅周辺整備課	継続	★JR草薙駅周辺エリアマネジメント支援事業	ソフト	3,000	③教育文化	59	101
10	都市局	清水駅周辺整備課	新規	★公共空間を利活用した大学間連携による まちづくりフェス開催事業	ソフト	1,200	③教育文化	60	101
11	市民局 子ども未来局	生涯学習推進課 子ども未来課	継続	★生涯学習交流館・児童館建設事業	ハード	373,930		190	51 79
地域コミュニティの強化									
12	市民局	生活安心安全課	拡充	街頭防犯カメラ設置費助成	ソフト	6,000		191	51
						739,964			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成29年度当初予算額 1,118,215

6 共生都市 ③まちづくりは人づくり・シチズンシップ

高等教育のあり方検討推進事業

企画局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	3,093				3,093
前年度予算額	3,076				3,076

目的	地域振興、地方創生の礎として、地域を担う人材を地域の中で育てるため、多様な視点から本市に求められる高等教育のあり方を検討し、高等教育のあるべき姿とそれに対する方策を明らかにする。
----	---



事業概要	<p>平成27年度策定の総合戦略に基づき、これまでに基礎調査、経済界ヒアリング、モデルケース研究などを実施してきた。</p> <p>1 静岡市高等教育あり方検討会 これまでの調査等を踏まえ、30年度は有識者による検討会を開催し、本市が求める高等教育のあり方とそれを実現するための方策を検討し、31年度以降の検討深化に繋げる。</p> <p>○任期 平成30年度末まで ○開催回数 6回程度 ○委員数 10名程度 ○検討内容 (案) ・リカレント教育 ・アクティブ・ラーニング ・専門職大学 ・高大接続 など</p> <p>2 各種調査等 ○各種調査等（事例調査・情報収集など）を実施する。</p>
------	---

静岡市総合戦略(H27.10策定)

2 「ひと」を育て、まちを活性化する

□中長期の取組

大学進学時に若者が流出している現状を受け、若者の学びの選択肢の拡大、地域社会や生産性向上を目指す企業が必要とする人材の育成、確保を図るための受け皿として、市立大学の設置可能性も含めて高等教育のあり方を検討する。



6 共生都市 ③まちづくりは人づくり・シチズンシップ

【拡充】

「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業

市民局ほか

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (10/10ほか)	市債	その他	
当初予算額	26,485	4,205		1,540	20,740
前年度予算額	23,856	1,679		1,434	20,743

目的	「まちづくりは人づくり」の意識のもと、「構想力」「行動力」「人間力」を兼ね備えた市民と行政との協働によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材を養成。
----	---

事業概要	<p>市で実施する人材養成事業をひとつに束ねた総合的な学び舎「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」を実施</p> <p>○主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 各講座実施によるシチズンシップの醸成 他講座を聴講できる公開講座の実施 修了生が一堂に集う交流会の開催 静岡まちづくりマスターの認定 <p>1 総合課程・地域人材を養成する講座 2講座</p> <ul style="list-style-type: none"> 募集定員 基礎編50人、調査・実践編20人 (関連事業) 高校のニーズ調査研究 新規 教員等を対象としたシンポジウムの開催 (8月) 高校へのアンケート調査 <p>2 専門課程・福祉などの分野別の講座 16講座 拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> 募集定員 396人
------	---



地域デザインカレッジ



静岡市お茶の学校



文化財サポーター入門講座

6 共生都市 ③まちづくりは人づくり・シチズンシップ

「市民活動支援システム」運用等事業

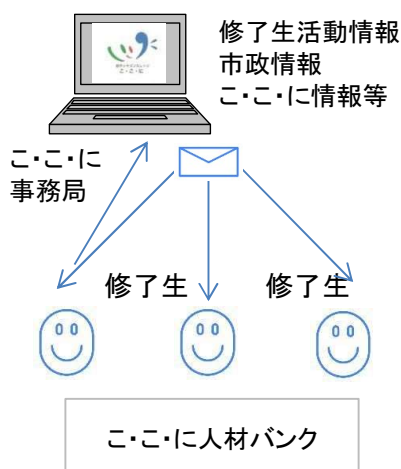
市民局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	3,280				3,280
前年度予算額	18,738				18,738

目的	シチズンシップに富んだ人づくりを目指し、「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」の人材バンクを整備するとともに、市民が自分の住む地域で行われているまちづくり活動に参加を促すための情報を提供する。
----	---

事業概要	1 「市民活動支援システム」運用事業 2,830千円
	<p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動情報の提供 ・「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」人材バンクの整備 ・こ・こ・に修了生（以下、修了生）への市政情報提供 <p>○特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体等の活動情報を、マッピング機能によりひと目で探すことができる ・市民活動団体、修了生等を検索できる（分野別・地域別等） ・市民が写真投稿機能により身近な情報提供で貢献できる ・修了生に市政への参画を促すための市政情報をメール配信する <p>○効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における市民活動団体等の活動内容の“見える化” ・市民に役立つ情報を、市民の協力で提供できる ・市、活動団体、修了生がネットワーク化される
	2 「対話の場づくり」事業 450千円
	○課題やテーマを設定し、修了生、市民活動団体、学生等異なる人々が集まり、解決に向けた対話の場を提供



© OpenStreetMap contributors / CC BY-SA
<http://www.openstreetmap.org/copyright>

6 共生都市 ③まちづくりは人づくり・シチズンシップ

【拡充】

生涯学習交流館・児童館建設事業

市民局・子ども未来局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (4/10)	市債	その他	
当初予算額	373,930	37,220	308,800		27,910
前年度予算額	120,050	48,000	66,700		5,350

目的	<p>市民の自発的な学習活動を支援し、学習活動を通じて地域の交流や連携を深め、市民主体のまちづくり活動を推進する。 また、合築の児童館では児童に健全な遊びを与えて、健康の増進と豊かな情操の育成を図る。</p>
----	--

事業概要	<p>1 三保生涯学習交流館（児童館との複合施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・建設工事 348,844千円 ○施設概要 <ul style="list-style-type: none"> ・建設場所 清水区三保土地区画整理地内 ・構造 鉄骨造 2階建 ・延床面積 996.7㎡（交流館：723.6㎡ 児童館：273.1㎡） ・供用開始 平成30年9月（予定） <p>2 飯田生涯学習交流館（児童館との複合施設） 新規</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・地盤調査・敷地境界測量、設計 5,350千円 ○施設概要 <ul style="list-style-type: none"> ・建設場所 清水区下野東 ・構造 鉄骨造 2階建 ・延床面積 約1,000㎡（交流館：約700㎡ 児童館：約300㎡） ・供用開始 平成32年度（予定） <p>3 辻生涯学習交流館 新規</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強工事設計 11,536千円 ○施設概要 <ul style="list-style-type: none"> ・事業場所 清水区宮代町5-75 ・構造 鉄筋コンクリート造 3階建 ・延床面積 1,212.04㎡ ・建設 昭和56年度 ・工事完了 平成31年度（予定） <p>4 玉川生涯学習交流館 新規</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修工事設計 8,200千円 ○施設概要 <ul style="list-style-type: none"> ・事業場所 葵区落合126-1 ・構造 鉄筋コンクリート造 2階建 ・延床面積 498.67㎡ ・建設 昭和60年度 ・工事完了 平成31年度（予定） <p style="text-align: center;">三保生涯学習交流館（児童館との複合施設） 完成予想図</p>
------	--



6 共生都市 ③まちづくりは人づくり・シチズンシップ

【拡充】

街頭防犯カメラ設置費助成

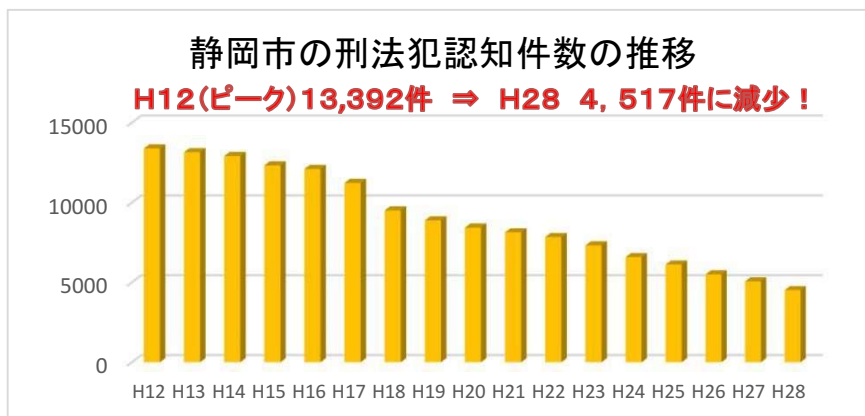
市民局

(千円)

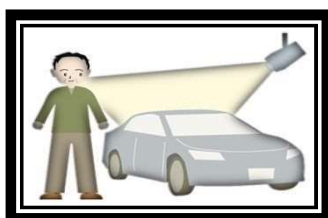
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	6,000				6,000
前年度予算額	3,000				3,000

目的	市民自らが行う防犯設備の整備を促進し、「みんなで取り組む地域防犯活動の推進」を図ることにより、安心して暮らすことができる安全な地域社会の実現を目指す。
----	---

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交付先 自治会、町内会及び地区安全会議 ○ 補助対象事業 <ul style="list-style-type: none"> ①街頭防犯カメラ、録画装置機器等の購入経費、設置工事経費 ②街頭防犯カメラの設置を示す看板製作経費、設置工事経費 ○ 補助率 10分の9 ○ 補助上限額 1台あたり30万円（1団体2台まで） ○ 補助予定台数 20台 拡充
------	---



しかし、市内の治安が回復していると感じている市民の割合:9%
(H25市政アンケート調査結果)



補助制度とあわせ「静岡市街頭防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」により適切な管理及び運用を推進します。

街頭防犯カメラの設置の促進

犯罪抑止効果
事件の早期解決

体感治安の向上
刑法犯認知件数の更なる減少



補助の対象となる防犯カメラ

- ・犯罪の防止を目的とするもの
- ・特定の場所に継続的に設置されるもの
- ・特定の個人もしくは物が識別できる画像記録機能を有するもの



市民が安心・安全に暮らすことができる犯罪のない生活環境の整備

